

令和 6 年 9 月 11 日現在

機関番号：32620

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2018～2023

課題番号：18K09082

研究課題名(和文) 早期変形性膝関節症の病態解析：半月板逸脱・骨棘・ヒアルロン分解の病態とその関連

研究課題名(英文) Pathophysiological analyses for early-stage knee osteoarthritis: Pathophysiology and association between meniscus extrusion, osteophyte, and hyaluronan degradation

研究代表者

石島 旨章 (Ishijima, Muneaki)

順天堂大学・大学院医学研究科・教授

研究者番号：70365576

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,400,000円

研究成果の概要(和文)：変形性膝関節症(膝OA)の病態解析を行い、大規模コホート研究のデータを用いて、内側半月板逸脱(MME)と関連する膝OA病変は、骨棘の軟骨成分を含む脛骨骨棘であることを示した。膝OAでは半月板は前方にも逸脱し、脛骨前方の骨棘と関連すること、そしてMME拡大は脛骨骨棘拡大と関連することも示した。また、骨棘の軟骨成分の骨棘細胞は、CD105とCD166陽性間葉系幹細胞を多く含み、IL-6にて増殖が抑制されることも示した。また、新規ヒアルロン酸(HA)分解酵素HYBIDは、膝OAの関節軟骨と滑膜にて発現亢進し、HA分解活性を有し、膝OA関節軟骨細胞ではIL-6により発現亢進することを明らかにした。

研究成果の学術的意義や社会的意義

変形性膝関節症(膝OA)には疾患修飾型治療法は存在せず、病態の更なる解明が急務である。

本研究では、膝関節の立位単純X線とMRIを備えた国内最大の本学の高齢者住民コホート研究(文京ヘルスタディー：BHS)のデータを用いて、早期から出現し膝OAに重要な役割を担う半月板逸脱(MME)の病態と、関節軟骨の変性と破壊に深く関与する新規ヒアルロン酸分解酵素・HYBIDとアグリカン分解に関わるADAMTSの機能解析、MME発生と密接に関連する骨棘の発生機序の解明を進めた。本研究は膝OAの病態解明に確実な一歩となり、膝OAの病態に則した早期診断・早期治療の実現に向けて、社会的意義は大きいと考える。

研究成果の概要(英文)：In this study examining pathophysiology of knee osteoarthritis (OA), medial meniscus extrusion (MME) was closely associated with the medial tibial osteophyte width, which was composed of not only bone-part but also cartilage-part. Medial meniscus (MM) was extruded not only medially (MME) but also anteriorly (AME) and AME was also associated with anterior tibial osteophyte width. The change of MME was also associated with that of medial tibial osteophyte width. The cultures chondrocytes extracted from cartilage part of osteophyte were positive for CD105 and CD166 antibody and their expression was inhibited by IL-6. The expression of HYBID (hyaluronan-binding protein involved in hyaluronan depolymerization; KIAA1199), novel hyaluronan-degrading enzyme, is increased in both cartilage and synovium in knee OA patients. HYBID degrades hyaluronan directly and the expression of HYBID was increased by IL-6 in chondrocyte extracted by knee OA patients.

研究分野：変形性膝関節症、膝関節外科、骨軟骨代謝、骨粗鬆症

キーワード：変形性膝関節症 半月板逸脱 骨棘 HYBID ヒアルロン酸 MRI 軟骨 ロコモティブシンドローム

## 様式 C - 19、F - 19 - 1 (共通)

### 1. 研究開始当初の背景

変形性膝関節症(膝 OA)は、関節軟骨の変性と摩耗を首座とする疾患であり、関節軟骨の変性・破壊とともに半月板や軟骨下骨および滑膜などにも質的および構造的変化をきたし、関節は変形し、歩行時痛や運動障害等の臨床症状が生じ、生活の質を低下させる。膝 OA は本邦では罹患者数が約 2,500 万人にも上り、中高年者を中心に有病率の高い疾患だが、治療法は病態の進行を抑えることはできず、歩行時の疼痛を主とした症状改善が目的となっている。

このように、膝 OA の発症や進行を抑制や回復させる治療法がない最大の理由は、病態解明が進んでいないことにある。医療の原点は早期診断と早期治療にあり、その観点から近年「早期膝 OA」と呼ばれる発症前の病態解明に関心が集まっている。

MRI 研究では、軟骨損傷、軟骨下骨陥凹、軟骨下骨嚢腫、骨髄異常陰影、骨棘、半月板損傷、靭帯、滑膜炎の 8 項目を膝 OA 病変として捉える Whole Organ Magnetic Resonance Imaging Score 法 (WORMS 法) が確立されている。単純 X 線上膝 OA を認めず歩行時膝痛もない壮年期の被検者を対象としたコホート研究では、骨棘が軟骨損傷より高頻度に認められ、早期膝 OA の病態への関与が示唆されている。また、WORMS の 8 項目に加え半月板の位置異常、特に内側半月板逸脱 (Medial meniscus extrusion: MME) が膝 OA の発症と進行リスク因子であることが示されている。われわれは、[1]MME は、膝 OA の早期から初期においても高頻度で認められ、半月板損傷がない状況でも認められること、[2]T2 mapping MRI 法にて単純 X 線や MRI では評価できない骨棘の軟骨成分 (=軟骨棘) が検出できること、[3]MME と最も関連する MRI 膝 OA 病変は、内側半月板の直下にある脛骨内側の軟骨成分と骨成分を合算した骨棘幅であることを報告した (Arthritis Res Ther 2017;19:201)。しかし、この研究は対象者数が少なく (n=50)、大規模データにてその関連性の普遍性の検討が必要であり、横断研究のため骨棘幅と MME との因果関係も不明であり、縦断研究により MME 進行と骨棘幅拡大との関連の検討が必要であった。また、MRI を用いた膝 OA の病態解析から、半月板逸脱は、内側 (MME) のみではなく、前方にも逸脱 (Anterior meniscus extrusion: AME) することが知られていた。われわれは、AME も MME と同様に骨棘と関連するのではないかと仮説を立てその検証も必要と考えた。

また、骨棘は一般的には軟骨破壊に続発した反応性病変と捉えられており、早期 OA の病態に関与するとの概念に乏しく、機序解明は進んでいない。われわれは、軟骨の細胞外マトリックス (ECM) に存在するヘパラン硫酸プロテオグリカンであるパールカン遺伝子を関節滑膜で欠損したマウスに膝 OA を誘導し、関節軟骨辺縁部での骨棘形成が阻害されることを示した (Matrix Biol 2013;32:178-187)。骨棘は内軟骨性骨化の過程を経て形成されることから、パールカンは滑膜間葉系細胞が軟骨分化する過程に必須な機能を有すると考えられた。このため、マウス膝関節から滑膜細胞の単離・培養法を確立し、本法を用いて滑膜間葉系細胞の軟骨分化に必須な Sox9 の発現がパールカン欠損で抑制されることを示した (J Orthop Res 2017;35:837-846)。骨棘の発生機序の解明は、膝 OA の病態解析において、今後より一層重要な課題の一つになるものとする。

関節軟骨は軟骨細胞と ECM からなり、膝 OA では関節軟骨の細胞死と ECM の合成低下と分解亢進により軟骨の変性と破壊が進展する。関節軟骨の ECM 成分は、ヒアルロン酸 (HA) にアグリカンが結合した HA-アグリカンネットワークと型コラーゲン線維が主要成分であり、OA では HA-アグリカンネットワークの分解・消失に始まりコラーゲン線維分解により破壊が進行する。アグリカン分解には ADAMTS4 と 5 が中心的役割を担い、軟骨コラーゲン線維分解にはコラゲナーゼ活性を有する MMP 分子が主体をなす。HA 分解には、既知の HYAL2 (hyaluronidase2)/CD44 や HYAL1 に加え、新規分子 HYBID (hyaluronan-binding protein involved in hyaluronan

depolymerization ; K1AA1199) (Proc Natl Acad Sci USA 2013;110:5612-5617) が重要な役割を担うと想定されていたが、早期膝 OA における HYBID による HA 分解機序解明は不十分であった。

## 2. 研究の目的

本研究では、[1]半月板逸脱と関連する膝 OA 病変の検討、[2]膝 OA における骨棘形成および軟骨分解の病態解析、[3]膝 OA における HYBID による HA 分解機序の解析、を目的とした。

## 3. 研究の方法

本研究では、下記の研究を進めた。

### [1] 半月板逸脱と関連する膝 OA 病変の検討

#### [1]-A. 中高年者の歩行速度と関連する MRI 膝 OA 病変の検討

われわれは、膝 OA の病態において、半月板機能不全、特に半月板損傷に加えて逸脱が早期から重要な病態であると考えている。そこで、中高年者の歩行速度と関連する MRI 膝 OA 病変は MME かという仮説を立て、高齢者を対象に歩行速度と関連する MRI 膝 OA 病変を検討した。

#### [1]-B. 大規模高齢者コホートデータを用いた MME と関連する MRI 膝 OA 病変の関連

われわれが先行研究で見出した知見は、以下の3点である (Arthritis Res Ther 2017;19:201)。具体的には、[1]MME は、膝 OA の早期から初期においても高頻度で認められ、MRI 上の半月板損傷がない状況でも認められること、[2]T2 mapping MRI 法を用いることで、単純 X 線や MRI では評価できない骨棘の軟骨成分 (=軟骨棘) が検出できること、[3]MME と最も関連する MRI にて検出できる膝 OA 病変の検討では、脛骨内側の軟骨成分と骨成分を合算した骨棘幅と最も関連すること、であった。しかし、本知見を得た研究は、早期および初期膝 OA を呈する 50 名を対象としており、これが普遍的な現象であることを示す必要があった。そのため、本研究にて下記の2つの手段にて研究を進めた。(1)T2 mapping MRI は、通常の MRI 撮影条件に加え特別な条件での撮影を要するため、一般的 MRI 画像にて骨棘の軟骨成分が評価可能な手法の開発を試みた。また、(2)本学の代謝内分泌学講座・放射線学講座・神経内科学講座・整形外科科学講座が中心となり、メタボリックシンドロームとロコモティブシンドロームと認知症との関連を研究する 10 年間の高齢者住民コホート研究 (文京ヘルスタディー [BHS]) を始めた。この BHS の初回測定時のデータを用いて、MME と関連する MRI にて検出できる膝 OA 病変を検討した。

#### [1]-C. 大規模高齢者コホートデータを用いた AME と関連する MRI 膝 OA 病変の関連

MRI 膝 OA 病変のひとつである半月板前方逸脱 (AME) と関連する MRI 膝 OA 病変は明らかになっていなかった。BHS 初回測定時のデータにて高齢者の AME と関連する MRI 膝 OA 病変を検討した。

#### [1]-D. ACL 再建術を受けた患者を対象とした MME 拡大と関連する MRI 膝 OA 病変の変化の関連

MME の発生機序解析のため、MME の変化と関連する MRI 膝 OA 病変の変化を検討のため、ACL 損傷に対して ACL 再建術を受けた患者を対象に、ACL 再建術前後の MRI を用いた研究を行った。

## [2] 膝 OA における骨棘形成および軟骨分解の病態解析

膝 OA 関節組織の関節軟骨と骨棘の軟骨部位から mRNA を採取し、細胞外マトリックス、軟骨内骨化、増殖因子シグナルなどに関わる遺伝子発現を定量 PCR にて検討した。

## [3] 膝 OA における軟骨分解機序の解析

### [3]-A. 膝 OA における HYBID による関節軟骨と滑膜における HA 分解の制御機構の解析

新規 HA 分解酵素の HYBID の関節軟骨における発現を、免疫染色において検証した。また、in vitro にて、炎症性サイトカインによる関節軟骨における HYBID 発現の影響を検討した。

### [3]-B. HYBID 遺伝子欠損マウスの膝 OA モデルでの解析

HYBID 遺伝子欠損および対照マウスを用い、(1)加齢マウスの膝 OA 発症率と関節軟骨と滑膜のヒアルロン酸含有量および低分子化を評価し、(2)関節局所への過負荷を来す DMM 法にて膝 OA を

誘導し、組織学的評価と関節軟骨および滑膜のヒアルロン酸含有量と低分子化を評価した。(3) 関節軟骨と滑膜細胞を培養し、HYBID による各種サイトカインや軟骨分化誘導効果を検討した。

### **[3]-C. アグリカン分解性 ADAMTS 分子の ADAMTS4 の制御機構**

アグリカン分解活性を有する ADAMTS1,4,5,8,9,15,16,18,20 分子の OA 滑膜組織での発現を RT-PCR でスクリーニングを行い発現陽性の ADAMTS1,4,5,9,16 を定量 PCR 法にて検討した。

### **[3]-D. HYBID と TMEM2 の膝 OA 関節軟骨での発現とサイトカインによる発現調節機構**

ヒト膝 OA 関節軟骨組織を用いて、HYBID と HYBID と約 50% のホモロジーを有する TMEM(Transmembrane protein 2)の膝 OA 関節軟骨での発現を比較し、両者の関節軟骨のヒアルロン酸分解機能の比較、そして各種サイトカインによる発現の変化を比較した。

## **4 . 研究成果**

### **[1] 半月板逸脱と関連する膝 OA 病変の検討**

#### **[1]-A. 中高年者の歩行速度と関連する MRI 膝 OA 病変の検討**

高齢者の歩行機能は、寿命の指標の一つである。この歩行速度と関連する MRI にて検出できる膝 OA の病態を検討した。高齢者 74 名(平均 72.2 歳、単純 X 線膝 OA 重症度：初期 27%、進行期 34%、末期 39%)の歩行速度(0.73 m/s)の歩行速度と関連する MRI にて検出される膝 OA 病変は、軟骨病変、骨髄異常陰影、軟骨下骨陥凹、軟骨下骨嚢胞などの軟骨下骨病変ではなく、半月板損傷や骨棘そして滑膜炎でもなく、MME であった。(Osteoarthr Cartil Open 2021;3:100176)

#### **[1]-B. 大規模高齢者コホートデータを用いた MME と関連する MRI 膝 OA 病変の関連**

本学スポーツロジセンターにおいて展開中の高齢者住民コホート・BHS の 1,000 名を超える高齢者(平均 72.9 歳)を対象に、PDWI MRI を疑似カラー化した方法(pseud-colored proton density-weighted fat-suppressed MRI: PPDFS-MRI)を開発した。本法にて、T2 マッピング法にて評価する骨棘の軟骨成分(軟骨棘)が正確に評価可能であることを示した。そして、MME がほぼすべての高齢者に認められることを示した。さらに、われわれの先行研究にて得た知見(Arthritis Res Ther 2017;19:201)と同じく、MME と関連する MRI 膝所見は脛骨骨棘幅であり、MME は脛骨骨棘幅を高率に一致した。以上より、膝 OA 早期から MME を認め、半月板損傷が認められなくても MME は発生すること、さらには大部分の MME は脛骨近位骨棘幅と強く関連し、脛骨近位骨棘幅よりも小さい MME はほとんど存在しないこと示した (Sci Rep 2022;12:17242)

#### **[1]-C. 大規模高齢者コホートデータを用いた AME と関連する MRI 膝 OA 病変の関連**

本学スポーツロジセンターにおいて展開中の高齢者住民コホート・BHS の 1,000 名を超える高齢者(平均 72.9 歳)を対象に、内側半月板は、MME と同程度に高頻度に前方にも逸脱(AME)していることを示した。さらに、AME と関連する MRI 膝 OA 病変を検討すると、脛骨前方骨棘幅と関連することを示した(Sci Rep 2022;12:17242)。

#### **[1]-D. ACL 再建術を受けた患者を対象とした MME 拡大と関連する MRI 膝 OA 病変の変化の関連**

平均年齢 30 歳の前十字靭帯(ACL)損傷患者 30 名では、ACL 再建術前と術後で MME が平均 2mm 拡大した。MME 以外にも、MRI 膝 OA 病変のいくつかはこの間に拡大した。MME 拡大程度と最も強く関連した MRI 膝 OA 病変は、脛骨骨棘幅であった。以上より、MME は脛骨近位内側骨棘の成長とともに発生する可能性がより一層示唆された。(Osteoarthr Cartil Open. 2022;4:100320)。

### **[2] 膝 OA における骨棘形成および軟骨分解の病態解析**

関節軟骨に比べて骨棘では、COL1A1、VCAN、BGLAP、BMP8B、RUNX2、SOST などが有意に高値を示した。また、軟骨と骨棘より単離した細胞にて MSC で発現する各種細胞分化マーカーの検討から、CD105 と CD166 双方陽性の細胞(CD105<sup>+</sup>/CD66<sup>+</sup>細胞)は、骨棘細胞で高値であり、これらの細胞は脂肪細胞、骨芽細胞、軟骨細胞への分化能を有することも示した。そして、関節軟骨細胞と

骨芽細胞を種々の培養液中で3次元培養(スフェロイド培養)すると、MSC用培養液にTGF- $\beta$ 3を入れた軟骨分化培地で軟骨と骨棘組織の発現遺伝子特性が維持され、骨棘細胞のスフェロイドサイズが有意に大きくなることも示した。その他の結果も踏まえ、骨棘細胞は、CD105とCD166の双方が陽性のMSC(CD105<sup>+</sup>/CD66<sup>+</sup>細胞)をより多く含み、骨棘形成はIL-6により抑制されることを示した(Negishi, Ishijima, et al. Am J Pathol 2024;194:135-149)。

### [3] 膝OAにおける軟骨分解機序の解析

#### [3]-A. 膝OAにおけるHYBIDによる関節軟骨と滑膜におけるHA分解の制御機構の解析

新規HA分解酵素のHYBIDの関節軟骨における発現は、正常軟骨と比較して膝OA関節軟骨において有意に高く発現し、そしてin vitroにて関節軟骨におけるHYBIDの発現はIL-6とTNF- $\alpha$ にて有意に発現が亢進することを示した。以上より、HYBIDは、膝OAにおいて、関節軟骨でも滑膜でも発現が亢進し、膝OAの早期から関節内のヒアルロン酸低分子化に重要な機能を有する可能性が強く示唆された(Shiozawa, Ishijima, et al. Am J Pathol 2020;190:1046-1058)。

#### [3]-B. HYBID遺伝子欠損マウスの膝OAモデルでの解析

HYBID遺伝子欠損マウス(Hybrid-KO)に膝OAを誘導すると、野生型と比較し膝関節内のHA低分子化が抑制され、膝OA進行が遅延した。さらに、野生型の膝OA誘導モデルへの高分子HA関節内投与により、膝OA進行が遅延した。以上より、膝OA早期の病態としてのHA分解には、既知のHYAL2/CD44やHYAL1に加え、HYBIDが重要な役割を担うことを明らかにした(Momoeda, Ishijima, et al. J Pathol 2021;191:1986-1998)。

#### [3]-C. アグリカン分解性ADAMTS分子のADAMTS4の制御機構

ヒトADAMTS遺伝子ファミリー分子19種類のうち、9種類(ADAMTS1,4,5,8,9,15,16,18,20)がアグリカン分解活性を有するが、OA滑膜組織で発現する主要ADAMTS分子に関する情報は限られていた。ADAMTS4とADAMTS5遺伝子欠損マウスの解析から、マウスのアグリカン分解酵素はADAMTS5だとされる。一方、ヒト関節軟骨細胞ではADAMTS5は恒常的に発現するが、ADAMTS4は炎症性サイトカイン刺激で発現亢進する。つまり、ヒトOA関節におけるADAMTS4とADAMTS5の役割は、依然議論が多いというのが現状がある。本研究では、ADAMTS4のみが正常滑膜組織よりOA滑膜組織で有意に高発現し、主に滑膜表層細胞で産生されることを示した。また、培養膝OA滑膜線維芽細胞を各種サイトカインにて刺激すると、IL-1 $\alpha$ 、TNF- $\alpha$ 、TGF- $\beta$ 1刺激によりADAMTS4発現は最も亢進し、IL-1 $\alpha$ +TNF- $\alpha$ +TGF- $\beta$ 1刺激でADAMTS4発現が相乗的に亢進した。これらサイトカイン刺激下における細胞内シグナルを阻害剤にて検討すると、TAK1が中心的な経路であり、TNF- $\alpha$ とTGF- $\beta$ 1刺激ではALK5-Smad2/3とNF- $\kappa$ Bの経路も関与することを示した。そしてIL-1 $\alpha$ +TNF- $\alpha$ +TGF- $\beta$ 1刺激下でのADAMTS4の発現は、AdalimumabとTAK1とNF- $\kappa$ B経路の阻害剤にて完全に阻害できた。以上から、AdalimumabとTAK1/NF- $\kappa$ B経路を標的とした新規治療法の開発が早期膝OAの関節軟骨破壊抑制剤として期待される(Lab Invest 2022;102:102-111)。

#### [3]-D. HYBIDとTMEM2の膝OA関節軟骨での発現とサイトカインによる発現調節機構

正常関節軟骨におけるHYBIDとTMEM2の発現に差はなかった。しかし、膝OA関節軟骨のHYBID発現は、TMEM2の発現よりも高値であった。HYBIDの膝OA関節軟骨組織での発現亢進とTMEM2の恒常的な発現を確認した。培養膝OA関節軟骨細胞におけるHA分解活性は、siRNAによるHYBIDノックダウン時のみ消失し、TMEM2ノックダウンでは変化はなかった。培養膝OA関節軟骨細胞のIL-6刺激では、濃度依存性にHYBID発現は亢進した。一方、TMEM2発現は、IL-6を含めた10種類の炎症性メディエーター処理でも発現亢進はなかった。以上より、TMEM2とは対照的に、HYBIDは明確なHA分解活性を有し、膝OA軟骨組織で高発現し、膝OA関節軟骨細胞ではIL-6による発現亢進することを初めて明らかにした。(Shiozawa, Ishijima, et al. Sci Rep 2022;12:17242)

## 5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計78件（うち査読付論文 50件 / うち国際共著 7件 / うちオープンアクセス 45件）

1. 著者名 Adili Arepati, Kaneko Haruka, Aoki Takako, Liu Lizu, Negishi Yoshifumi, Tomura Jun, Wakana Suguru, Momoeda Masahiro, Arita Hitoshi, Hada Shinnosuke, Shiozawa Jun, Kubota Mitsuaki, Someya Yuki, Tamura Yoshifumi, Aoki Shigeki, Watada Hirotaka, Kawamori Ryuzo, Negishi-Koga Takako, Okada Yasunori, Ishijima Muneaki	4. 巻 5
2. 論文標題 Anterior meniscus extrusion is associated with anterior tibial osteophyte width in knee osteoarthritis ? The Bunkyo Health Study	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Osteoarthritis and Cartilage Open	6. 最初と最後の頁 100364 ~ 100364
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ocarto.2023.100364	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kim Youngji, Kubota Mitsuaki, Sato Taisuke, Tanabe Hiroki, Ohno Ryuichi, Ishijima Muneaki	4. 巻 13
2. 論文標題 Hip abduction angle after open-wedge high tibial osteotomy is associated with the timed up & go test and recurrence of varus alignment	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 7074
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-023-33481-9	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kubota Mitsuaki, Kim Yougji, Kaneko Haruka, Yoshida Keiichi, Ishijima Muneaki	4. 巻 36
2. 論文標題 Poor Accuracy of Intraoperation Medial Proximal Tibial Angle Measurement Compared to Alignment Rod Methods in Open-Wedge High Tibial Osteotomy for Medial Knee Osteoarthritis	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 The Journal of Knee Surgery	6. 最初と最後の頁 767 ~ 772
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1055/s-0042-1742649	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yoshida Keiichi, Kubota Mitsuaki, Kaneko Haruka, Kim Youngji, Kobayashi Keiji, Hada Shinnosuke, Saita Yoshitomo, Ishijima Muneaki	4. 巻 31
2. 論文標題 Higher fibular head is a risk for lateral hinge fracture in medial open wedge high tibial osteotomy	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Knee Surgery, Sports Traumatology, Arthroscopy	6. 最初と最後の頁 4935 ~ 4941
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00167-023-07544-3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Negishi Y, Kaneko H, Aoki T, Liu L, Adili A, Arita H, Hada S, Momoeda M, Huang H, Tomura J, Wakana S, Shiozawa J, Kubota M, Someya Y, Tamura Y, Aoki S, Watada H, Kawamori R, Negishi-Koga T, Okada Y, Ishijima M	4. 巻 13
2. 論文標題 Medial meniscus extrusion is invariably observed and consistent with tibial osteophyte width in elderly populations: The Bunkyo Health Study	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 22805
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-023-49868-7	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Negishi Yoshifumi, Adili Arepati, de Vega Susana, Momoeda Masahiro, Kaneko Haruka, Cilek Mehmet Z., Yoshinaga Chiho, Takafuji Kazuaki, Otsuka Yuta, Shimoda Masayuki, Negishi-Koga Takako, Ishijima Muneaki, Okada Yasunori	4. 巻 194
2. 論文標題 IL-6 Reduces Spheroid Sizes of Osteophytic Cells Derived from Osteoarthritis Knee Joint via Induction of Apoptosis	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 The American Journal of Pathology	6. 最初と最後の頁 135 ~ 149
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ajpath.2023.10.005	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yokoyama Moeka, Miyazawa Taku, Hanawa Hiroki, Hirata Keisuke, Yokoyama Hikaru, Kubota Keisuke, Fujino Tsutomu, Kanemura Naohiko, Kaneko Haruka, Adili Arepati, Ishijima Muneaki	4. 巻 90
2. 論文標題 Effects of sampling frequency and interpolation preprocessing on inter- and intra-study comparability of stabilometric variables	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 Biomedical Signal Processing and Control	6. 最初と最後の頁 105841 ~ 105841
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bspc.2023.105841	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hada Shinnosuke, Hada Masao, Yoshida Keiichi, Kaneko Haruka, Saita Yoshitomo, Kubota Mitsuaki, Ishijima Muneaki	4. 巻 16
2. 論文標題 Conservative Treatment Using Platelet-Rich Plasma for Acute Anterior Cruciate Ligament Injuries in Highly Active Patients: A Retrospective Survey	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 Cureus	6. 最初と最後の頁 e5310
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.7759/cureus.53102	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 東村潤, 金子晴香, 石島旨章	4. 巻 36
2. 論文標題 変形性膝関節症に対する薬物療法の実際と有用性	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 MB Orthopaedics	6. 最初と最後の頁 29-41
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 石島旨章	4. 巻 34
2. 論文標題 健康寿命延伸と運動器医学	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 運動器リハビリテーション	6. 最初と最後の頁 88
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 石島旨章, 金子晴香, 羽田晋之介, Alipati Adili, 根岸義文, 根岸(古賀)貴子, 岡田保典	4. 巻 6
2. 論文標題 早期変形性膝関節症における骨棘と半月板逸脱そして半月板損傷の関連	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Precision Medicine	6. 最初と最後の頁 877-881
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 森川大智, 石島旨章	4. 巻 36
2. 論文標題 肩の鏡視下手術の基本手技	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 MB Orthop	6. 最初と最後の頁 52-58
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shiozawa Jun, de Vega Susana, Yoshinaga Chiho, Ji Xang, Negishi Yoshifumi, Momoeda Masahiro, Nakamura Tomomi, Yoshida Hiroyuki, Kaneko Haruka, Ishijima Muneaki, Okada Yasunori	4. 巻 12
2. 論文標題 Expression and regulation of recently discovered hyaluronidases, HYBID and TMEM2, in chondrocytes from knee osteoarthritic cartilage	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 17242
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-022-22230-z	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ishijima M., Nakamura T., Shimizu K., Hayashi K., Kikuchi H., Soen S., Omori G., Yamashita T., Uchio Y., Chiba J., Ideno Y., Kubota M., Kaneko H., Kurosawa H., Kaneko K.	4. 巻 30
2. 論文標題 Different changes in the biomarker C-terminal telopeptides of type II collagen (CTX-II) following intra-articular injection of high molecular weight hyaluronic acid and oral non-steroidal anti-inflammatory drugs in patients with knee osteoarthritis: a multi-center randomized controlled study	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Osteoarthritis and Cartilage	6. 最初と最後の頁 852 ~ 861
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.joca.2022.03.003	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Cilek Mehmet Zeynel, de Vega Susana, Shiozawa Jun, Yoshinaga Chiho, Miyamae Yuka, Chijiwa Miyuki, Mochizuki Satsuki, Ito Masatoshi, Kaneko Haruka, Kaneko Kazuo, Ishijima Muneaki, Okada Yasunori	4. 巻 102
2. 論文標題 Synergistic upregulation of ADAMTS4 (aggrecanase-1) by cytokines and its suppression in knee osteoarthritic synovial fibroblasts	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Laboratory Investigation	6. 最初と最後の頁 102 ~ 111
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41374-021-00685-4	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hada Shinnosuke, Kaneko Haruka, Liu Lizu, Aoki Takako, Takamura Tomohiro, Kinoshita Mayuko, Arita Hitoshi, Shiozawa Jun, Negishi Yoshifumi, Momoeda Masahiro, Kubota Mitsuaki, Aoki Shigeki, Okada Yasunori, Ishijima Muneaki	4. 巻 4
2. 論文標題 Medial meniscus extrusion is directly correlated with medial tibial osteophyte in patients received reconstruction surgery for anterior cruciate ligament injury: A longitudinal study	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Osteoarthritis and Cartilage Open	6. 最初と最後の頁 100320 ~ 100320
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ocarto.2022.100320	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kim Youngji, Kubota Mitsuaki, Sato Taisuke, Inui Tetsuya, Ohno Ryuichi, Ishijima Muneaki	4. 巻 30
2. 論文標題 A bone bruise at the lateral and medial tibial plateau with an anterior cruciate ligament injury is associated with a meniscus tear	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Knee Surgery, Sports Traumatology, Arthroscopy	6. 最初と最後の頁 2298 ~ 2306
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00167-021-06786-3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 羽田晋之介, 金子晴香, 岡田保典, 石島旨章	4. 巻 33
2. 論文標題 MRIから見える内側半月板逸脱の病態	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 運動器リハビリテーション	6. 最初と最後の頁 311 ~ 316
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 石島旨章, 金子晴香, 吉田圭一, 長尾雅史, 永山正隆, 斎田良知, 久保田光昭, 岡田保典	4. 巻 40
2. 論文標題 変形性関節症: ONO-5704/S1-613	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 関節外科	6. 最初と最後の頁 290-297
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.18885/JJS.0000000558	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kubota M, Kim Y, Inui T, Sato T, Kaneko H, Ishijima M	4. 巻 25
2. 論文標題 Risk factor for venous thromboembolism after high tibial osteotomy -analysis of patient demographics, medical comorbidities, operative valuables, and clinical results.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 J Orthop	6. 最初と最後の頁 124-128
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jor.2021.04.003.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Arita H, Ishijima M, Kaneko H, Ishibashi M, Sadatsuki R, Liu L, Hada S, Kinoshita M, Aoki T, Negishi Y, Momoeda M, Adeli A, Kubota M, Okada Y, Kaneko K	4. 巻 3
2. 論文標題 Medial meniscus extrusion as a determinant for the gait speed in patients with knee osteoarthritis	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Osteoarthr Cartil Open	6. 最初と最後の頁 100176
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ocarto.2021.100176	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 吉村祐輔, 石島旨章	4. 巻 72
2. 論文標題 ロコモニタープラス	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 整形外科	6. 最初と最後の頁 570-575
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.15106/j_seikei72_570	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 石島旨章, 金子晴香, 劉立足, 青木孝子, 黄輝, アルパティ アディリ, 染谷由希, 田村好史, 河盛隆造	4. 巻 72
2. 論文標題 住民コホートによる評価- 30. 文京ヘルスタディー	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 整形外科	6. 最初と最後の頁 632-636
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.15106/j_seikei72_632	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Snoeker BAM, Ishijima M, Kumm J, Zhang F, Turkiewicz AT, Englund M, Snoeker BAM, Ishijima M, Kumm J, Zhang F, Turkiewicz AT, Englund M	4. 巻 29
2. 論文標題 Are structural abnormalities on knee MRI associated with osteophyte development? Data from the Osteoarthritis Initiative.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Osteoarthritis Cartilage.	6. 最初と最後の頁 1701-1708
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.joca.2021.06.012	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Uchino S, Saita Y, Wada A, Kobayashi Y, Wakayama T, Nishio H, Fukusato S, Momoi Y, Nakajima R, Ikeda H, Ishijima M	4. 巻 18
2. 論文標題 The immature platelet fraction affects the efficacy of platelet rich plasma therapy for knee osteoarthritis	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Reg Ther	6. 最初と最後の頁 176-181
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.reth.2021.06.004	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Momoeda M, de Vega S, Kaneko H, Yoshinaga C, Shimoda M, Nakamura T, Endo Y, Yoshida H, Kaneko K, Ishijima M, Okada Y	4. 巻 191
2. 論文標題 Deletion of Hybid (hyaluronan-binding protein involved in hyaluronan depolymerization) results in attenuation of osteoarthritis in mice	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Am J Pathol. 2021	6. 最初と最後の頁 1986-1998
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ajpath.2021.07.008..	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Someya Y, Tamura Y, Kaga H, Sugimoto D, Kadowaki S, Suzuki R, Aoki S, Hattori H, Motoi Y, Shimada K, Daida H, Ishijima M, Kaneko K, Nojiri S, Watada H, Kawamori R	4. 巻 11
2. 論文標題 Insulin resistance and muscle weakness are synergistic risk factors for silent lacunar infarcts: the Bunkyo Health Study	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Sci Rep	6. 最初と最後の頁 21093
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-021-00377-5	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 中川匠, 松本秀男, 池内昌彦, 内尾祐司, 石島旨章, 荻須英子, 西鷹一訓, 星野雄一	4. 巻 72
2. 論文標題 変形性膝関節症に対するエスフルルピロフェン貼付剤の長期使用における安全性と有効性 -特定使用成績調査	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 整形外科	6. 最初と最後の頁 1127-1133
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.15106/j_seikei72_1127	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 吉村祐輔, 劉立足, 金子晴香, 平澤恵理, 内藤久士, 石島旨章	4. 巻 64
2. 論文標題 ロコモニタープロジェクト スマホで測定した活動量データによる運動習慣の継続的・客観的モニタリング	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 整形・災害外科	6. 最初と最後の頁 1361-1369
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.18888/se.0000001905	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kim Y, Kubota M, Sato T, Inui T, Ohno R, Ishijima M	4. 巻 Nov 21
2. 論文標題 A bone bruise at the lateral and medial tibial plateau with an anterior cruciate ligament injury is associated with a meniscus tear	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc	6. 最初と最後の頁 ePub
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00167-021-06786-3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Otsuka H, Tabata H, Shi H, Kaga H, Someya Y, Abulaiti A, Naito H, Umemura F, Kakehi S, Ishijima M, Kawamori R, Watada H, Tamura Y	4. 巻 10
2. 論文標題 Associations of exercise habits in adolescence and old age with risk of osteoporosis in older adults: The Bunkyo Health Study	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 J Clin Med	6. 最初と最後の頁 5968
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/jcm10245968.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 石島旨章	4. 巻 64
2. 論文標題 研究を行うことの意義	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 整形・災害外科	6. 最初と最後の頁 1609
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.18888/se.0000001962	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sakamoto Yuko, Ishijima Muneaki, Nakano Satoshi, Suzuki Mitsuyoshi, Liu Lizu, Tokita Akifumi, Kim Sung-Gon, Shimizu Toshiaki, Kaneko Kazuo, Nozawa Masahiko	4. 巻 106
2. 論文標題 Physiologic Leg Bowing is not a Physiologic Condition but Instead is Associated with Vitamin D Disorders in Toddlers	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Calcified Tissue International	6. 最初と最後の頁 95 ~ 103
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00223-019-00619-9	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kubota Mitsuaki, Kim Youngji, Sato Taisuke, Yamaguchi Junichiro, Ohno Ryuichi, Kaneko Kazuo, Ishijima Muneaki	4. 巻 6
2. 論文標題 The actual knee function was not influenced by joint line obliquity after open-wedge high tibial osteotomy	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 SICOT-J	6. 最初と最後の頁 4 ~ 4
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1051/sicotj/2020001	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shiozawa Jun, de Vega Susana, Cilek Mehmet Z., Yoshinaga Chiho, Nakamura Tomomi, Kasamatsu Shinya, Yoshida Hiroyuki, Kaneko Haruka, Ishijima Muneaki, Kaneko Kazuo, Okada Yasunori	4. 巻 190
2. 論文標題 Implication of HYBID (Hyaluronan-Binding Protein Involved in Hyaluronan Depolymerization) in Hyaluronan Degradation by Synovial Fibroblasts in Patients with Knee Osteoarthritis	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 The American Journal of Pathology	6. 最初と最後の頁 1046 ~ 1058
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ajpath.2020.01.003	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 石島旨章, 羽田晋之介, 金子晴香, 根岸義文, 百枝雅裕, 岡田保典, 金子和夫	4. 巻 63
2. 論文標題 変形性膝関節症の早期における半月板変性の機序	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 整形・災害外科	6. 最初と最後の頁 519-529
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yamada K Ito Yoichi M. Akagi M, Chosa E, Fuji T, Hirano K, Ikeda S, Ishibashi H, Ishibashi Y, Ishijima M, et al	4. 巻 25
2. 論文標題 Reference values for the locomotive syndrome risk test quantifying mobility of 8681 adults aged 20?89 years: A cross-sectional nationwide study in Japan	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Orthopaedic Science	6. 最初と最後の頁 1084 ~ 1092
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jos.2020.01.011	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Maruyama Hiroki, Taguchi Atsumi, Mikame Mariko, Lu Hongmei, Tada Norihiro, Ishijima Muneaki, Kaneko Haruka, Kawai Mariko, Goto Sawako, Saito Akihiko, Ohashi Riuko, Nishikawa Yuji, Ishii Satoshi	4. 巻 2
2. 論文標題 Low bone mineral density due to secondary hyperparathyroidism in theGlatmTg(CAG A4GALT)mouse model of Fabry disease	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 FASEB BioAdvances	6. 最初と最後の頁 365 ~ 381
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1096/fba.2019-00080	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Huang Hui, Nagao Masashi, Arita Hitoshi, Nishio Hirofumi, Kaneko Haruka, Saita Yoshitomo, Ishijima Muneaki, Takazawa Yuji, Ikeda Hiroshi, Kaneko Kazuo	4. 巻 26
2. 論文標題 Validation and defining the minimal clinically important difference of the Japanese version of the IKDC Subjective Knee Form	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Orthopaedic Science	6. 最初と最後の頁 149 ~ 155
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jos.2020.02.010	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Someya Y, Tamura Y, Kaga H, Sugimoto D, Kadowaki S, Suzuki R, Aoki S, Hattori N, Motoi Y, Shimada K, Daida H, Ishijima M, Kaneko K, Nojiri S, Kawamori R, Watada H	4. 巻 5
2. 論文標題 Reduced muscle strength of knee extensors is a risk factor for silent lacunar infarcts among Japanese elderly people: the Bunkyo Health Study	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 JCSM Clinical Reports	6. 最初と最後の頁 79-85
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 鶴岡秀一, 山縣邦弘, 中田研, 石島旨章, 比嘉辰伍, 津村弘	4. 巻 71
2. 論文標題 変形性膝関節症の治療ガイド - 経口非ステロイド性抗炎症薬 (NSAIDs) の副作用 (腎障害) 予防の観点から -	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 整形外科	6. 最初と最後の頁 787-793
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 金子晴香, 石島旨章, 金子和夫	4. 巻 51
2. 論文標題 変形性関節症におけるバイオマーカーの現状	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 糖尿病・内分泌代謝科	6. 最初と最後の頁 264-269
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Huang Hui, Nagao Masashi, Nishio Hirofumi, Kaneko Haruka, Saita Yoshitomo, Takazawa Yuji, Ikeda Hiroshi, Kaneko Kazuo, Ishijima Muneaki	4. 巻 Jan 2
2. 論文標題 Remnant preservation provides good clinical outcomes after anterior cruciate ligament reconstruction	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Knee Surgery, Sports Traumatology, Arthroscopy	6. 最初と最後の頁 Jan 2
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00167-020-06406-6	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 石島旨章, 羽田晋之介, 金子晴香, 青木孝子, 金子和夫	4. 巻 17
2. 論文標題 変形性膝関節症の画像診断(MRI)の最新のトレンド -骨棘と半月板位置異常 (半月板逸脱) -	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 RadFan	6. 最初と最後の頁 68-73
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 He B, Chiba Y, Li H, de Vega S, Tanaka K, Yoshizaki K, Ishijima M, Yuasa K, Ishikawa M, Rhodes C, Sakai K, Zhang P, Fukumoto S, Zhou X, Yamada Y	4. 巻 98
2. 論文標題 Identification of the Novel Dental Epithelium-Specific Transcription Factor AmeloD	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 J Dent Res	6. 最初と最後の頁 234-241
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1177/0022034518808254	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 野尻英俊, 石島旨章, 長尾雅史, 奥田貴俊, 金子和夫	4. 巻 40
2. 論文標題 骨粗鬆症がもたらす脊椎関連の痛み	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 ペインクリニック	6. 最初と最後の頁 239-244
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Chiba Y, He B, Yoshizaki K, Ishijima M, K.E.Bleck K, Stempinski E, Chu E, Nakamura T, Iwamoto T, de Vega S, Saito K, Fukumoto S, Yamada Y	4. 巻 294
2. 論文標題 The transcription factor AmeloD stimulates epithelial cell motility essential for tooth morphology	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 J Biol Chem	6. 最初と最後の頁 3406-3418
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1074/jbc.RA118.005298	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 de Vega S, Kondo A, Suzuki M, Arai H, Jiapaer S, Sabit H, Nakada M, Ikeuchi T, Ishijima M, Arikawa-Hirasawa E, Yamada Y, Okada Y	4. 巻 145
2. 論文標題 Fibulin-7 is overexpressed in glioblastomas and modulates glioblastoma neovascularization through interaction with angiopoietin-1	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Int J Cancer	6. 最初と最後の頁 2157-2169
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/ijc.32306	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Sadatsuki R, Ishijima M, Kaneko H, Liu L, Shinnosuke H, Futami I, Kinoshita M, Kubota M, Aoki T, Takazawa Y, Ikeda H, Okada Y, Kaneko K	4. 巻 37
2. 論文標題 Bone marrow lesion is associated with disability for activities of daily living in patients with early stage knee osteoarthritis	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 J Bone Miner Metab	6. 最初と最後の頁 529-536
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00774-018-0950-z.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 吉村祐輔, 石島旨章, 金子晴香, 長尾雅史, 金子和夫	4. 巻 5
2. 論文標題 ロコモニタープロジェクト -スマートフォンを活用したロコモの大規模疫学研究と予防啓発活動-	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Loco Cure	6. 最初と最後の頁 106-109
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kubota M, Ohno R, Sato T, Yamaguchi J, Kaneko H, Kaneko K, Ishijima M	4. 巻 27
2. 論文標題 The medial proximal tibial angle accurately corrects the limb alignment in open-wedge high tibial osteotomy	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Knee Surgery Sports Traumatol Arthrosc	6. 最初と最後の頁 2410-2416
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00167-018-5216-8	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Someya S, Tamura Y, Kaga H, Nojiri S, Shimada K, Daida H, Ishijima M, Kaneko K, Aoki S, Miida T, Hirayama S, Konishi S, Hattori N, Motoi Y, Naito H, Kawamori R, Watada H	4. 巻 9
2. 論文標題 Skeletal muscle function and need for long-term care of urban elderly people in Japan (the Bunkyo Health Study): a prospective cohort study	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 BMJ Open	6. 最初と最後の頁 e031584
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1136/bmjopen-2019-031584	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Huang H, Nagao M, Arita H, Shiozawa J, Nishio H, Kobayashi Y, Kaneko H, Nagayama M, Saita Y, Ishijima M, Takazawa Y, Ikeda H, Kaneko K	4. 巻 18
2. 論文標題 Reproducibility, responsiveness and validation of the Tampa Scale for Kinesiophobia in patients with ACL injuries	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Health Qual Life Outcomes	6. 最初と最後の頁 150
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12955-019-1217-7.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yoshimura Y, Ishijima M, Ishibashi M, Liu L, Arikawa-Hirasawa E, Machida S, Naito H, Hamada C, Kominami E	4. 巻 24
2. 論文標題 A nationwide observational study of locomotive syndrome in Japan using the ResearchKit software framework: The Locomonitor Study	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 J Orthop Sci	6. 最初と最後の頁 1094-1104
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jos.2019.08.009.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 石島旨章	4. 巻 66
2. 論文標題 非定型大腿骨骨折の最新知見	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 クニシアン	6. 最初と最後の頁 779-786
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 石島旨章, 金子晴香, 根岸義文, 百枝雅裕, 岡田保典, 金子和夫	4. 巻 77
2. 論文標題 変形性膝関節症における慢性疼痛	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 日本臨床	6. 最初と最後の頁 2027-2034
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 塩澤淳, 石島旨章, 金子和夫, 岡田保典.	4. 巻 62
2. 論文標題 変形性膝関節症におけるHYBID (CEMIP/KIAA1199) の発現と役割: 早期変形性膝関節症のバイオマーカーとしての可能性を含めて	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 整形・災害外科	6. 最初と最後の頁 2027-2034
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 根岸義文, 石島旨章, 金子晴香, 金子和夫	4. 巻 32
2. 論文標題 膝関節疾患のCTおよびMRIの描出方法と読影ポイント	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 MB Orthop	6. 最初と最後の頁 199-210
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sakamoto Y, Ishijima M, Nakano S, Suzuki M, Tokita A, Kim SG, Shimizu T, Kaneko K, Nozawa M	4. 巻 106
2. 論文標題 Physiologic leg bowing is not a physiologic condition but instead is associated with vitamin D disorders in toddlers	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Calcif Tissue Int	6. 最初と最後の頁 95-103
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00223-019-00619-9	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kubota K, Kim Y, Sato T, Yamaguchi J, Ohno R, Kaneko K, Ishijima M	4. 巻 6
2. 論文標題 The actual knee function was not influenced by joint line obliquity after open-wedge high tibial osteotomy	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 SICOT J	6. 最初と最後の頁 4
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1051/sicotj/2020001	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sakamoto Yuko, Ishijima Muneaki, Kinoshita Mayuko, Liu Lizu, Suzuki Mitsuyoshi, Kim Sung-Gon, Kamata Koichi, Tokita Akifumi, Kaneko Haruka, Shimizu Toshiaki, Kaneko Kazuo, Nozawa Masahiko	4. 巻 36
2. 論文標題 Association between leg bowing and serum alkaline phosphatase level regardless of the presence of a radiographic growth plate abnormality in pediatric patients with genu varum	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Bone and Mineral Metabolism	6. 最初と最後の頁 447 ~ 453
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00774-017-0851-6	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 NAKANO Satoshi, SUZUKI Mitsuyoshi, MINOWA Kei, HIRAI Saeko, TAKUBO Noriyuki, SAKAMOTO Yuko, ISHIJIMA Muneaki, HOSHINO Eri, TOKITA Akifumi, SHIMIZU Toshiaki	4. 巻 64
2. 論文標題 Current Vitamin D Status in Healthy Japanese Infants and Young Children	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Nutritional Science and Vitaminology	6. 最初と最後の頁 99 ~ 105
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3177/jnsv.64.99	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Shimizu Hidenori, Shimoda Masayuki, Mochizuki Satsuki, Miyamae Yuka, Abe Hitoshi, Chijiwa Miyuki, Yoshida Hiroyuki, Shiozawa Jun, Ishijima Muneaki, Kaneko Kazuo, Kanaji Arihiko, Nakamura Masaya, Toyama Yoshiaki, Okada Yasunori	4. 巻 188
2. 論文標題 Hyaluronan-Binding Protein Involved in Hyaluronan Depolymerization Is Up-Regulated and Involved in Hyaluronan Degradation in Human Osteoarthritic Cartilage	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 The American Journal of Pathology	6. 最初と最後の頁 2109 ~ 2119
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ajpath.2018.05.012	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yoshihara Toshinori, Ozaki Hayao, Nakagata Takashi, Natsume Toshiharu, Kitada Tomoharu, Ishihara Yoshihiko, Deng Pengyu, Osawa Takuya, Ishibashi Masayoshi, Ishijima Muneaki, Kobayashi Hiroyuki, Machida Shuichi, Naito Hisashi	4. 巻 30
2. 論文標題 Effects of a progressive walking program on the risk of developing locomotive syndrome in elderly Japanese people: a single-arm trial	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Physical Therapy Science	6. 最初と最後の頁 1180 ~ 1186
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1589/jpts.30.1180	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sadatsuki Ryo, Ishijima Muneaki, Kaneko Haruka, Liu Lizu, Futami Ippei, Hada Shinnosuke, Kinoshita Mayuko, Kubota Mitsuaki, Aoki Takako, Takazawa Yuji, Ikeda Hiroshi, Okada Yasunori, Kaneko Kazuo	4. 巻 37
2. 論文標題 Bone marrow lesion is associated with disability for activities of daily living in patients with early stage knee osteoarthritis	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Bone and Mineral Metabolism	6. 最初と最後の頁 529 ~ 536
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00774-018-0950-z	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Kubota Mitsuaki, Ohno Ryuichi, Sato Taisuke, Yamaguchi Junichiro, Kaneko Haruka, Kaneko Kazuo, Ishijima Muneaki	4. 巻 Oct25
2. 論文標題 The medial proximal tibial angle accurately corrects the limb alignment in open-wedge high tibial osteotomy	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Knee Surgery, Sports Traumatology, Arthroscopy	6. 最初と最後の頁 1-7
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00167-018-5216-8	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Chiba Yuta, He Bing, Yoshizaki Keigo, Rhodes Craig, Ishijima Muneaki, Bleck Christopher K. E., Stempinski Erin, Chu Emily Y., Nakamura Takashi, Iwamoto Tsutomu, de Vega Susana, Saito Kan, Fukumoto Satoshi, Yamada Yoshihiko	4. 巻 294
2. 論文標題 The transcription factor AmeloD stimulates epithelial cell motility essential for tooth morphology	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Biological Chemistry	6. 最初と最後の頁 3406 ~ 3418
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1074/jbc.RA118.005298	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 He B., Chiba Y., Li H., de Vega S., Tanaka K., Yoshizaki K., Ishijima M., Yuasa K., Ishikawa M., Rhodes C., Sakai K., Zhang P., Fukumoto S., Zhou X., Yamada Y.	4. 巻 98
2. 論文標題 Identification of the Novel Tooth-Specific Transcription Factor AmeloD	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Dental Research	6. 最初と最後の頁 234 ~ 241
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1177/0022034518808254	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 長尾雅史, 内藤聖人, 石島旨章, 金子和夫	4. 巻 146
2. 論文標題 骨粗鬆症の外科療法	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 日本医師会雑誌	6. 最初と最後の頁 2039-41
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 石島旨章, 金子和夫	4. 巻 662
2. 論文標題 骨粗鬆症の治療戦略	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 クリニシアン	6. 最初と最後の頁 102-108
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kubota Mitsuaki, Ishijima Muneaki, Ikeda Hiroshi, Takazawa Yuji, Saita Yoshitomo, Kaneko Haruka, Kurosawa Hisashi, Kaneko Kazuo	4. 巻 15
2. 論文標題 Mid and long term outcomes after fixation of osteochondritis dissecans	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Orthopaedics	6. 最初と最後の頁 536 ~ 539
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jor.2018.01.002	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 石島旨章	4. 巻 90
2. 論文標題 骨粗鬆症治療アップデート	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 京都臨床整形外科医会学術講演会報告	6. 最初と最後の頁 23-25
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 石島旨章, 吉村祐輔	4. 巻 36
2. 論文標題 スマートフォンアプリ「ロコモニタープラス」の概要と可能性	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Pharma Medica	6. 最初と最後の頁 63-64
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 石島旨章, 羽田晋之介, 金子晴香, 劉立足, 青木孝子, 根岸義文, 百枝雅裕, 久保田光昭, 長尾雅史, 斎田良知, 高澤祐治, 池田浩, 岡田保典, 金子和夫	4. 巻 32
2. 論文標題 早期膝OAの臨床病態 -軟骨成分を加味した骨棘と半月板逸脱の関連-	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 The BONE	6. 最初と最後の頁 45-53
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 石島旨章, 金子晴香, 岡田保典, 金子和夫	4. 巻 28
2. 論文標題 変形性膝関節症の診断・治療の現状と今後の展望	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Clinical Calcium	6. 最初と最後の頁 749-759
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 羽田晋之介, 石島旨章, 金子晴香, 岡田保典, 金子和夫	4. 巻 29
2. 論文標題 初期変形性膝関節症における内側半月板逸脱と脛骨内側骨棘幅との関連 -T2マッピングMRIを用いた解析	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 運動器リハビリテーション	6. 最初と最後の頁 2-10
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 石島旨章	4. 巻 114
2. 論文標題 「ロコモニター」バージョンアップ版：ロコモニタープラス	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 日整会広報室ニュース	6. 最初と最後の頁 5
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 石島旨章、金子晴香、劉立足、有田均、青木孝子、西尾啓史、塩澤淳、根岸義文、百枝雅裕、長尾雅史、永山正隆、齋田良知、高澤祐治、池田浩、岡田保典、黒澤尚、金子和夫	4. 巻 39
2. 論文標題 変形性膝関節症の運動療法 -その意義と実際-	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 ペインクリニック	6. 最初と最後の頁 1215-1228
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計266件 (うち招待講演 84件 / うち国際学会 74件)

1. 発表者名 Kubota M, Kaneko H, Kim Y, Yoshida K, Kobayashi K, Tomura J, Wakana S, J Shiozawa, Hada S, Saita Y, Ishijima M
2. 発表標題 High tibial osteotomy contributes good clinical results for patients with knee osteoarthritis up to grade 3 of Kellgren-Lawrence classification
3. 学会等名 OARSI World Congress 2023 (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Kaneko H, Adili A, Aoki T, Liu L, Negishi Y, Tomura J, Wakana S, Kim Y, Kobayashi K, Kubota M, Ishijima M
2. 発表標題 Medial meniscus tear progresses medial meniscus extrusion beyond osteophyte width in middled-aged populations with K/L 0 - Data from the Osteoarthritis Initiative
3. 学会等名 OARSI World Congress 2023 (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Kobayashi K, Kaneko H, Aoki T, Adili A, Liu L, Negishi Y, Tomura J, Wakana S, Shiozawa J, Kim Y, Hada S, Kubota M, Ishijima M
2. 発表標題 Enlargement of medial meniscal extrusion increases a risk for incidence of early stage knee osteoarthritis -Six-year longitudinal study using data from Osteoarthritis Initiative (OAI)
3. 学会等名 OARSI World Congress 2023 (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Hada S, Kaneko H, Adili A, Liu L, Tomura J, Wakana S, Shiozawa J, Kim Y, Kobayashi K, Kubota M, Ishijima M
2. 発表標題 Medial plica increases risk for progression of medial meniscus extrusion and osteophyte development in middle-aged populations with Kellgren-Lawrence classification grade 0 -Data from Osteoarthritis Initiative (OAI)
3. 学会等名 OARSI World Congress 2023 (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Kim Y, Kaneko H, Adili A, Liu L, Aoki T, Tomura J, Wakana S, Shiozawa J, Kobayashi K, Hada S, Kubota M, Ishijima M
2. 発表標題 Bone marrow abnormalities on lateral compartment of knee joint increase risk for incidence of medial knee osteoarthritis - Data from Osteoarthritis Initiative (OAI)
3. 学会等名 OARSI World Congress 2023 (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Shiozawa J, Vega SD, Yoshinaga C, Negishi Y, Momoeda M, Nakamura T, Yoshida H, Kaneko H, Ishijima M, Okada Y
2. 発表標題 Expression and regulation of recently discovered hyaluronidases (HYBID and TMEM2) in chondrocytes from knee OA cartilage
3. 学会等名 OARSI World Congress 2023 (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Shiozawa J, Kaneko H, Liu L, Adili A, Aoki T, Tomura J, Wakana S, Kobayashi K, Hada S, Kim Y, Machiyama Y, Yamamura T, Kubota M, Ishijima M
2. 発表標題 Synovitis of osteoarthritis of the knee is associated with bone marrow abnormality in elderlies -The Bunkyo Health Study
3. 学会等名 OARSI World Congress 2023 (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Tomura J, Kaneko H, Liu L, Negishi Y, Adili A, Wakana S, Machiyama Y, Yamamura T, Tamura Y, Kubota M, Ishijima M
2. 発表標題 Subchondral insufficiency fracture of the knee (SIFK) in elderlies: Prevalence and associations with knee pain and meniscus tear -The Bunkyo Health Study (BHS)
3. 学会等名 OARSI World Congress 2023 (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Adili A, Negishi Y, Kaneko H, Liu L, Aoki T, Tomura J, Wakana S, Machiyama Y, Yamamura T, Yokoyama M, Kim Y, Kobayashi K, Kubota M, Tamura Y, Ishijima M
2. 発表標題 Anterior, medial, and posterior tibial osteophytes increase risk for medial meniscus complete tear and anterior and posterior tibial osteophyte are associated with medial meniscus posterior and anterior tear, respectively, in elderlies with knee osteoarthritis -The Bunkyo Health Study
3. 学会等名 OARSI World Congress 2023 (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Wakana S, Kaneko H, Liu L, Machiyama Y, Yamamura T, Adili A, Momoeda M, Tomura J, Negishi Y, Yoshida K, Kobayashi K, Kubota M, Tamura Y, Kawamori R, Ishijima M
2. 発表標題 Anterior, medial, and posterior tibial osteophytes increase risk for medial meniscus complete tear and anterior and posterior tibial osteophyte are associated with medial meniscus posterior and anterior tear, respectively, in elderlies with knee osteoarthritis -The Bunkyo Health Study
3. 学会等名 OARSI World Congress 2023 (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Machiyama Y, Kaneko H, Kobayashi K, Tomura J, Adili A, Wakana S, Liu L, Kim Y, Kubota M, Tamura Y, Ishijima M
2. 発表標題 Exercise habits in elderlies are associated with knee pain and lower limb muscle strength -The Bunkyo Health Study (BHS)
3. 学会等名 OARSI World Congress 2023 (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Yamamura T, Kaneko H, Adili A, Liu L, Aoki T, Tomura J, Wakana S, Machiyama Y, Tamura Y, Kubota M, Ishijima M
2. 発表標題 MME is a risk factor for progression of knee stiffness in middle-aged populations with Kellgren-Lawrence grade 0 -Data from the Osteoarthritis Initiative
3. 学会等名 OARSI World Congress 2023 (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Sugitani K, Hada S, Adili A, Aoki T, Tomura J, Wakana S, Kim Y, Kobayashi K, Kaneko H, Kubota M, Ishijima M
2. 発表標題 Medial meniscus extrusion in middle-aged subjects with Kellgren-Lawrence grade 0 is a risk factor for medial meniscus posterior root tear (MMPRT) 6 years later -Data from Osteoarthritis Initiative (OAI)
3. 学会等名 OARSI World Congress 2023 (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Sasahara T, Kaneko H, Liu L, Negishi Y, Aoki T, Adili A, Tomura Y, Wakana S, Kubota M, Tamura Y, Ishijima M
2. 発表標題 Association between medial meniscus extrusion and mechanical axis of the lower limb in elderlies -The Bunkyo Health Study-
3. 学会等名 OARSI World Congress 2023 (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Yokoyama M, Kaneko H, Liu L, Adili A, Tomura J, Wakana S, Machiyama Y, Yamamura T, Yamamura T, Tamura Y, Kubota M, Ishijima M
2. 発表標題 Association between insulin resistance and pain sensitivity in participants with early-stage knee osteoarthritis and bone mallow abnormality -Data from the Bunkyo Health Study
3. 学会等名 OARSI World Congress 2023 (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 久保田光昭, 金栄智, 金子晴香, 吉田圭一, 小林慶司, 羽田晋之介, 塩澤淳, 齋田良知, 石島旨章
2. 発表標題 末期変形性膝関節症に対する高位脛骨骨切り術後2年の臨床成績は初期・進行期より劣る
3. 学会等名 第96回日本整形外科学会学術総会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 金子晴香, アルパティ アディリ, 青木孝子, 劉立足, 根岸義文, 東村潤, 若菜傑, 金栄智, 小林慶司, 久保田光昭, 石島旨章
2. 発表標題 中年期K/Lグレード0でも半月板損傷が起きると骨棘幅以上に半月板逸脱が進行する -OAデータの6年間縦断解析
3. 学会等名 第96回日本整形外科学会学術総会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 羽田晋之介, 金子晴香, Adili Arepati, 劉立足, 東村潤, 若菜傑, 塩澤淳, 金栄智, 小林慶司, 久保田光昭, 石島旨章
2. 発表標題 中年期K/L分類グレード0の内側滑膜ひだは内側半月板逸脱進行と骨棘拡大のリスク因子である -OAデータの6年間縦断解析
3. 学会等名 第96回日本整形外科学会学術総会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 根岸義文, 金子晴香, 劉立足, 小林慶司, 羽田晋之介, 金栄智, 東村潤, 塩澤淳, 若菜傑, 待山祐一郎, 石島旨章
2. 発表標題 高齢者における内側半月板逸脱と下肢機能軸の関連 -文京ヘルスタディー-
3. 学会等名 第96回日本整形外科学会学術総会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 金栄智, 久保田光昭, 田邊浩規, 小林慶司, 塩澤淳, 金子晴香, 大野隆一, 石島 旨章
2. 発表標題 高位脛骨骨切り術後の股関節外転角の増加はアライメントの再内反とtimed up & go testと関連する
3. 学会等名 第96回日本整形外科学会学術総会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 金栄智, Arepat Adili, 金子晴香, 劉立足, 東村 潤, 若菜傑, 塩澤淳, 小林慶司, 羽田晋之介, 久保田光昭, 石島 旨章
2. 発表標題 K/Lグレード0における膝関節外側のMRI上軟骨下骨病変は内側型変形性膝関節症の発症リスクである -0AIスタディー
3. 学会等名 第96回日本整形外科学会学術総会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 塩澤淳, Arepati Adili, 金子晴香, 小林慶司, 金栄智, 東村潤, 若菜傑, 待山祐一郎, 山村拓也, 久保田光昭, 石島旨章
2. 発表標題 高齢者の変形性膝関節症に伴う滑膜炎は骨髄異常陰影と関連する -文京ヘルスタディー
3. 学会等名 第96回日本整形外科学会学術総会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Arepati Adili, 金子晴香, 劉立足, 根岸義文, 東村潤, 若菜傑, 金栄智, 吉田圭一, 小林慶司, 久保田光昭, 石島旨章
2. 発表標題 高齢者の内側半月板完全断裂は脛骨前後及び内側骨棘幅と関連する -文京ヘルスタディー-
3. 学会等名 第96回日本整形外科学会学術総会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 若菜傑, 金子晴香, 劉立足, Arepati Adili, 根岸義文, 東村潤, 待山祐一郎, 山村拓也, 田村好史, 久保田光昭, 石島旨章
2. 発表標題 初期変形性膝関節症を呈する高齢者のロコモ度はMRIによる膝関節構造変化とも関連しない -文京ヘルスタディー-
3. 学会等名 第96回日本整形外科学会学術総会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 待山祐一郎, 金子晴香, 小林慶司, 東村潤, 若菜傑, Arepati Adili, 山村拓也, 金栄智, 田村好史, 久保田光昭, 石島旨章
2. 発表標題 老年期の運動習慣は膝痛や日常生活の状態及び下肢筋力と関連する -文京ヘルスタディー-
3. 学会等名 第96回日本整形外科学会学術総会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 山村拓也, 金子晴香, Arepati Adili, 劉立足, 青木孝子, 東村潤, 若菜傑, 待山祐一郎, 田村好史, 久保田光昭, 石島旨章
2. 発表標題 K/Lグレード0の中年者の内側半月板逸脱は6年後の膝のこわばり増悪のリスク因子である -OAIデータの6年縦断解析
3. 学会等名 第96回日本整形外科学会学術総会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 杉谷謙伍, 羽田晋之介, Arepati Adili, 青木貴子, 東村潤, 若菜傑, 金栄智, 小林慶司, 金子晴香, 久保田光昭, 石島旨章
2. 発表標題 中年期K/L分類グレード0の内側半月板逸脱は6年後の内側半月板後根損傷のリスク因子である -OAIデータの6年縦断解析
3. 学会等名 第96回日本整形外科学会学術総会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 笹原崇宏, 金子晴香, 劉立足, 根岸義文, 青木孝子, アルパティ アディリ, 東村潤, 若菜傑, 久保田光昭, 田村好史, 石島旨章
2. 発表標題 高齢者の睡眠障害と変形性膝関節症の疼痛は関連する -文京ヘルスタディー-
3. 学会等名 第96回日本整形外科学会学術総会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 多久和紘志, 寛佐織, 熊橋伸之, 金子晴香, 石島旨章, 綿田裕孝, 田村好史, 内尾祐司, 寺尾知可史, 池川志郎
2. 発表標題 日本人住民コホートにおける変形性膝関節症のゲノムワイド関連解析
3. 学会等名 第96回日本整形外科学会学術総会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 若菜傑, 金子晴香, 劉立足, 青木孝子, 羽田晋之介, 金栄智, Arepati Adili, 根岸義文, 東村潤, 待山祐一郎, 山村拓也, 小林慶司, 田村好史, 久保田光昭, 石島旨章
2. 発表標題 進行期・末期変形性膝関節症を呈する高齢者のロコモ度はMRI膝構造変化と関連せず運動機能と関連する -文京ヘルスタディー-
3. 学会等名 第51回日本関節病学会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Arepati Adili, 金子 晴香, 青木 孝子, 劉立足1, 東村潤, 若菜傑, 待山祐一郎, 山村拓也, 根岸義文, 横山萌香, 塩澤淳, 羽田晋之介, 小林慶司, 吉田 圭一, 久保田光昭, 石島旨章
2. 発表標題 Kellgren-Lawrence分類グレード0から進行する集団のMRI構造変化 -OAIデータの2年間の縦断解析による早期変形性膝関節症性の進行過程
3. 学会等名 第51回日本関節病学会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 東村潤, 金子晴香, 劉立足, 青木孝子, 多賀祐喜, 水野一乗, 桃井康雅, 内野小百合, 齊田良知, 久保田光昭, 石島旨章
2. 発表標題 変形性膝関節症に対する新規バイオマーカーとしての尿中コラーゲン由来糖鎖修飾ヒドロキシリジンの有用性の検討
3. 学会等名 第36回日本整形外科学会基礎学術集会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 若菜傑, 金子晴香, 劉立足, 青木孝子, 羽田晋之介, 金栄智, Arepati Adili, 小林慶司, 田村好史, 久保田光昭, 石島旨章
2. 発表標題 高齢者のロコモの判定には立ち上がりテストが最も感度が高い -文京ヘルスタディー-
3. 学会等名 第36回日本整形外科学会基礎学術集会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 待山祐一郎, 金子晴香, 劉立足, 東村潤, Arepati Adili, 山村拓也, 若菜傑, 田村好史, 久保田光昭, 石島旨章
2. 発表標題 ロコモ度と生体電気インピーダンス法によるPhase angleは関連する -文京ヘルスタディー-
3. 学会等名 第36回日本整形外科学会基礎学術集会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名	笹原崇宏, 金子晴香, 劉立足, 根岸義文, 青木孝子, アルパティ アディリ, 東村潤, 若菜傑, 久保田光昭, 田村好史, 石島旨章
2. 発表標題	高齢者の夜間膝痛と変形性膝関節症の重症度及び構造変化は関連する -文京ヘルスタディー-
3. 学会等名	第36回日本整形外科学会基礎学術集会
4. 発表年	2023年

1. 発表者名	吉田圭一, 久保田光昭, 金栄智, 羽田晋之介, 小林慶司, 金子晴香, 塩澤淳, 東村潤, 中嶋亮介, 若菜傑, 待山祐一郎, 山村拓也, 山本奈内子, 齋田良知, 石島旨章
2. 発表標題	粗面下高位脛骨骨切り術における術後合併症の特徴
3. 学会等名	第1回日本膝関節学会
4. 発表年	2023年

1. 発表者名	羽田晋之介, 金子晴香, 小林慶司, 吉田圭一, 金栄智, 塩澤淳, 齋田良知, 久保田光昭, 石島旨章
2. 発表標題	早期変形性膝関節症に対するエコー下medial release法の治療成績
3. 学会等名	第1回日本膝関節学会
4. 発表年	2023年

1. 発表者名	金栄智, 東村潤, 久保田光昭, 吉田圭一, 小林慶司, 羽田晋之助, 塩澤淳, 金子晴香, 齋田良知, 石島旨章
2. 発表標題	ster EOS用いた骨盤-下肢sagittalアライメントの評価 -粗面下骨切り術(OWDT0)と人工関節全置換術(TKA)の比較
3. 学会等名	第1回日本膝関節学会
4. 発表年	2023年

1. 発表者名 金子晴香, 羽田晋之介, 東村潤, 根岸義文, 若菜傑, 待山祐一郎, 山村拓也, 小林慶司, 久保田光昭 石島旨章
2. 発表標題 変形性膝関節症の膝単純X線の軟骨下骨変化-文京ヘルスタディー
3. 学会等名 第1回日本膝関節学会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 笹原崇宏, 金子晴香, 根岸義文, 東村潤, 若菜傑, 金栄智, 羽田晋之介, 吉田圭一, 小林慶司, 久保田光昭, 石島旨章
2. 発表標題 高齢者の夜間痛と内側半月板逸脱は関連する -文京ヘルスタディー
3. 学会等名 第1回日本膝関節学会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 山村拓也, 吉田圭一, 久保田光昭, 金栄智, 羽田晋之介, 小林慶司, 金子晴香, 東村潤, 待山祐一郎, 石島旨章
2. 発表標題 術前MPPTA低値は脛骨粗面下骨切り術の術後早期の臨床成績不良に関連する
3. 学会等名 第1回日本膝関節学会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 若菜傑, 金子晴香, 待山祐一郎, 山村拓也, 塩澤 淳, 東村潤, 金栄智, 羽田晋之介, 吉田圭一, 久保田光昭, 石島旨章
2. 発表標題 高齢者において高さ40cm座位からの片脚立ち上がりテスト(SLS40)の可否は膝のK/L分類と関連する -文京ヘルスタディー
3. 学会等名 第1回日本膝関節学会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 中村憲司, 有田均, 金勝乾, 小林慶司, 長尾雅史, 金子晴香, 石島旨章
2. 発表標題 前十字靭帯再建時の半月板処置の有無による術後経過の検討
3. 学会等名 第1回日本膝関節学会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 東村潤, 金栄智, 久保田光昭, 吉田圭一, 小林 慶司, 羽田晋之介, 塩澤淳, 金子晴香, 斎田良知, 石島旨章
2. 発表標題 変形性膝関節症の回旋アライメント評価におけるster EOSの有用性
3. 学会等名 第1回日本膝関節学会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 根岸義文, Adili Arepati, Susana de Vega, 百枝雅裕, 金子晴香, Mehmet Zeynel Cilek, 良永知穂, 高藤和輝, 大塚祐多, 下田将之, 根岸貴子, 石島旨章, 岡田保典
2. 発表標題 インターロイキン-6による変形性膝関節症由来骨棘細胞のスフェロイド形成抑制作用
3. 学会等名 第55回日本結合組織学会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 石島旨章
2. 発表標題 変形性膝関節症の治療の現状と展望
3. 学会等名 第25回順天堂練馬病診連携運動器フォーラム (招待講演)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 石島旨章
2. 発表標題 健康寿命延伸に向けた骨粗鬆症及び変形性膝関節症治療の考え方
3. 学会等名 印旛市郡整形外科医会（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 石島旨章
2. 発表標題 変形性膝関節症の治療の現状と展望
3. 学会等名 神奈川県臨床整形外科医会（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 石島旨章
2. 発表標題 病診連携による骨粗鬆症治療
3. 学会等名 杉並区整形外科医会（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 石島旨章
2. 発表標題 口コモ原因疾患としての変形性膝関節症対策の現状と展望
3. 学会等名 第30回泌尿器領域の医療とケア研究会（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 石島旨章
2. 発表標題 変形性膝関節症治療の現状と展望
3. 学会等名 函館整形外科学会学術講演会（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 石島旨章
2. 発表標題 早期変形性膝関節症の診断
3. 学会等名 第96回日本整形外科学会学術総会（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 石島旨章
2. 発表標題 変形性膝関節症の病態に則した治療の実践に向けた現状と展望
3. 学会等名 第96回日本整形外科学会学術総会（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 石島旨章
2. 発表標題 半月板から見る変形性膝関節症の発症メカニズム
3. 学会等名 第23回日本抗加齢医学会（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 石島旨章
2. 発表標題 人生100年時代の口コモ対策 -生涯立って・歩けるために今できること
3. 学会等名 順天堂大学都民公開講座（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 石島旨章
2. 発表標題 骨粗鬆症治療は本当に骨折発生を抑制できるのか？
3. 学会等名 第29回日本骨折治療学会（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 石島旨章
2. 発表標題 変形性膝関節症治療の現状と展望
3. 学会等名 第14回さくら整形外科フォーラム（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 石島旨章
2. 発表標題 骨粗鬆症診療のアップデート
3. 学会等名 オスタバロ発売記念講演会 in Shinshu（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 石島旨章
2. 発表標題 骨粗鬆症診療の発展から学ぶ変形性膝関節症診療の現状と展望
3. 学会等名 名古屋口コモセミナー（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 石島旨章
2. 発表標題 変形性膝関節症と骨粗鬆症診療のアップデート
3. 学会等名 第65回道北整形外科研究会（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 石島旨章
2. 発表標題 変形性膝関節症診療の現状と展望
3. 学会等名 第3回鹿児島骨関節セミナー（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 石島旨章
2. 発表標題 変形性膝関節症治療の現状と展望
3. 学会等名 浜松整形外科セミナー（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 石島旨章
2. 発表標題 変形性膝関節症の診療と研究におけるバイオマーカーの有用性と問題点
3. 学会等名 第36回日本整形外科学会基礎学術集会（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 石島旨章
2. 発表標題 骨粗鬆症診療の発展から学ぶ変形性膝関節症診療の現状と展望
3. 学会等名 第2回さぬき整形外科セミナー（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 石島旨章
2. 発表標題 ロコモ・フレイル・サルコペニアと変形性膝関節症の関連
3. 学会等名 第10回日本サルコペニア・フレイル学会（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 石島旨章
2. 発表標題 変形性膝関節症の診療の進め方 - 「変形性膝関節症診療ガイドライン2023」から考える
3. 学会等名 第12回港区医師会整形外科医会学術集会（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 石島 旨章
2. 発表標題 骨粗鬆症診療の発展から学ぶ変形性膝関節症診療の現状と展望
3. 学会等名 鹿島整形外科医会講演会（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 石島 旨章
2. 発表標題 変形性膝関節症治療の現状と展望
3. 学会等名 埼玉膝・スポーツ医学研究会（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 石島 旨章
2. 発表標題 変形性膝関節症診療のアップデート
3. 学会等名 第1回日本膝関節学会（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 A Arepati, H Kaneko, T Aoki, J Tomura, S Wakana, L Liu, Y Negishi, M Momoeda, K Yoshida, K Kobayashi, M Kubota, M Ishijima
2. 発表標題 Medial meniscus extrusion (MME) is a risk factor for progression of early-stage knee osteoarthritis in middle-aged populations without knee osteoarthritis- the data from Osteoarthritis Initiative
3. 学会等名 OARSI World Congress 2022（国際学会）
4. 発表年 2022年

1 . 発表者名 H Arita, H Kaneko, T Aoki, L Liu, A Arepati, J Tomura, S Wakana, Y Negishi, M Momoeda, M Kubota, Y Tamura, R Kawamori, M Ishijima
2 . 発表標題 The higher bone mineral density, the larger osteophyte and the severer synovitis in knee osteoarthritis- the Bunkyo Health Study (BHS)
3 . 学会等名 OARSI World Congress 2022 ( 国際学会 )
4 . 発表年 2022年

1 . 発表者名 H Kaneko, A Arepati, T Aoki, L Liu, Y Negishi, J Tomura, S Wakana, K Yoshida, K Kobayashi, M Momoeda, H Arita, M Kubota, M Ishijima
2 . 発表標題 Osteophyte formation progresses when synovitis was stronger in middle-aged populations with grade 0 of Kellegren-Lawrence classification -The Osteoarthritis Initiative
3 . 学会等名 OARSI World Congress 2022 ( 国際学会 )
4 . 発表年 2022年

1 . 発表者名 J Shiozawa, S de Vega, MZ Cilek, C Yoshinaga, X Ji, T Nakamura, S Kasamatsu, H Yoshida, H Kaneko, K Kaneko, M Ishijima, Y Okada
2 . 発表標題 IL-6-mediated overexpression of HYBID (hyaluronan-binding protein involved in hyaluronan depolymerization) in osteoarthritic synovium is implicated for hyaluronan degradation in synovial fluids in patients with knee osteoarthritis
3 . 学会等名 OARSI World Congress 2022 ( 国際学会 )
4 . 発表年 2022年

1 . 発表者名 J Tomura, H Kaneko, Y Negishi, T Aoki, L Liu, M Momoeda M, A Adili, S Wakana, K Kobayashi, K Yoshida, M Kubota, Y Tamura, R Kawamori, M Ishijima
2 . 発表標題 Irreversible subchondral bone changes are more responsible MRI-detected OA-structural changes than cartilage changes associated with knee pain in elderly populations -The Bunkyo Health Study (BHS)
3 . 学会等名 OARSI World Congress 2022 ( 国際学会 )
4 . 発表年 2022年

1 . 発表者名 K Kobayashi, H Kaneko, L Liu, T Aoki, Y Negishi, M Momoeda, J Tomura, S Wakana, K Yoshida, M Kubota, M Ishijima
2 . 発表標題 The structural changes of knee osteoarthritis are progressed in middle-aged populations with grade 0 of Kellgren -Lawrence classification -The Osteoarthritis Initiative
3 . 学会等名 OARSI World Congress 2022 ( 国際学会 )
4 . 発表年 2022年

1 . 発表者名 K Yoshida, M Kubota, K Kobayashi, H Kaneko, Y Saita, M Ishijima
2 . 発表標題 High Fibular Head Position Is a Risk Factor for Lateral Hinge Fracture in Medial Opening Wedge Osteotomy for Knee Osteoarthritis
3 . 学会等名 OARSI World Congress 2022 ( 国際学会 )
4 . 発表年 2022年

1 . 発表者名 M Kubota, H Kaneko, K Kobayashi, K Yoshida, J Shiozawa, M Ishijima
2 . 発表標題 Medial joint space width and joint line convergence angle were correlated with clinical results after high tibial osteotomy
3 . 学会等名 OARSI World Congress 2022 ( 国際学会 )
4 . 発表年 2022年

1 . 発表者名 M Momoeda, S de Vega, H Kaneko, C Yoshinaga, M Shimono, T Nakamura, Y Endo, H Yoshida, M Ishijima, Y Okada
2 . 発表標題 Hyaluronan degradation mediated by HYBID (hyaluronan-binding protein involved in hyaluronan depolymerization)promotes progression of knee Osteoarthritis in mice.
3 . 学会等名 OARSI World Congress 2022 ( 国際学会 )
4 . 発表年 2022年

1 . 発表者名 S Wakana, H Kaneko, L Liu, T Aoki, Y Negishi, A Aeili, J Tomura, K Yoshida, K Kobayashi, M Kubota, Y Tamura, R Kawamori, M Ishijima
2 . 発表標題 Radiographic severity, but not MRI-detected severity, of knee osteoarthritis is associated with severity of locomotive syndrome regardless of knee pain in elderlies -The Bunkyo Health Study (BHS)
3 . 学会等名 OARSI World Congress 2022 ( 国際学会 )
4 . 発表年 2022年

1 . 発表者名 T Yamamura, H Kaneko, T Aoki, Y Negishi, A Aeili, M Momoeda, L Liu, J Tomura, S Wakana, K Yoshida, K Kobayashi, M Kubota, Y Machiyama, Y Tamura, R Kawamori, M Ishijima
2 . 発表標題 Medial tibial osteophyte width is larger in female than male in elderlies with early-stage knee osteoarthritis -The Bunkyo Health Study (BHS)
3 . 学会等名 OARSI World Congress 2022 ( 国際学会 )
4 . 発表年 2022年

1 . 発表者名 Y Machiyama, H Kaneko, T Aoki, Y Negishi, A Adili, M Momoeda, L Liu, J Tomura, S Wakana, K Yoshida, K Kobayashi, M Kubota, T Yamamura, Y Tamura, R Kawamori, M Ishijima
2 . 発表標題 Mobility and leg strength in elderlies with middle-stage knee osteoarthritis were inferior to that in those with primary-stage knee osteoarthritis -The Bunkyo Health Study (BHS)
3 . 学会等名 OARSI World Congress 2022 ( 国際学会 )
4 . 発表年 2022年

1 . 発表者名 Y Negishi, H Kaneko, T Aoki, L Liu, M Momoeda, A Arepati, J Tomura, S Wakana, M Kubota, Y Tamura, R Kawamori, M Ishijima
2 . 発表標題 The larger MRI-detected medial tibial osteophyte width, the higher risk for unstable meniscuc tear in knee OA- the Bunkyo Health Study- (BHS)
3 . 学会等名 OARSI World Congress 2022 ( 国際学会 )
4 . 発表年 2022年

1. 発表者名 Adili Arepati, 金子晴香, 劉立足, 青木孝子, 根岸義文, 百枝雅裕, 東村潤, 若菜傑, 田村好史, 久保田光昭, 石島旨章
2. 発表標題 変形性膝関節症における脛骨前方骨棘は半月板後節および後根断裂の危険因子である
3. 学会等名 第37回日本整形外科学会基礎学術集会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Arepati Adili, 金子晴香, 青木孝子, 劉立足, 根岸義文, 東村潤, 若菜傑, 吉田圭一, 小林慶司, 久保田光昭, 石島旨章
2. 発表標題 脛骨内側半月板逸脱(MME)は変形性膝関節症のない中年者の変形性膝関節症進行リスク因子である OAIデータの6年縦断解析
3. 学会等名 第37回日本整形外科学会基礎学術集会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Arepati Adili, 金子晴香, 劉立足, 根岸義文, 東村潤, 若菜傑, 百枝雅裕, 待山祐一郎, 山村拓也, 田村好史, 久保田光昭, 石島旨章
2. 発表標題 前方半月板逸脱(AME)は高齢者における変形性膝関節症(OA)構造変化と関連する 文京ヘルスタディー(BHS)
3. 学会等名 第50回日本関節病学会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Machiyama Y, Kaneko H, Negishi Y, Momoeda M, Tomura J, Wakana S, Yoshida K, Kobayashi K, Kubota M, Yamamura T, Ishijima M
2. 発表標題 Exercise habits were associated with osteoarthritis of the knee and osteoporosis in elderlies -The Bunkyo Health Study (BHS) -
3. 学会等名 JOSKAS-JOSSM2022
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 石島旨章
2. 発表標題 口コモと変形性膝関節症
3. 学会等名 第33回日本運動器科学会（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 塩澤淳，金子晴香，石島旨章，岡田保典
2. 発表標題 新規ヒアルロニダーゼHYBID（CEMIP/KIAA1199）と近縁遺伝子TMEM2（CEMIP-2）の発現調節機構とOA関節軟骨破壊での役割
3. 学会等名 第12回Orthopedic Research Club
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 塩澤淳，金子晴香，永山正隆，長尾雅史，清水めぐみ，宮崎哲朗，島田和典，吉田圭一，小林慶司，久保田光昭，石島旨章
2. 発表標題 エイコサペンタエン酸（EPA）周術期投与による人工膝関節置換術後静脈血栓症発症抑制効果と安全性の検討- 1:3 症例対照研究
3. 学会等名 第95回日本整形外科学会学術総会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 塩澤淳，デベガスサーナ，良永知穂，根岸義文，百恵雅裕，中村智美，吉田浩之，金子晴香，石島旨章，岡田保典
2. 発表標題 関節軟骨破壊に関わる新規ヒアルロン酸分解酵素（HYBIDとTMEM2）の変形性膝関節症（OA）関節軟骨での発現調節機構
3. 学会等名 第37回日本整形外科学会基礎学術集会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 羽田晋之介, 金子晴香, 齋田良知, 久保田光昭, 高澤祐治, 池田浩, 岡田保典, 石島旨章
2. 発表標題 変性半月板損傷の治療 MRIからみる変性半月板の病態
3. 学会等名 第50回日本関節病学会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 吉田圭一, 久保田光昭, 小林慶司, 金子晴香, 石島旨章
2. 発表標題 腓骨頭高位は変形性膝関節症に対する内側開大高位脛骨骨切り術におけるType3 外側ヒンジ骨折のリスク因子である
3. 学会等名 第95回日本整形外科学会学術総会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 久保田光昭, 金 栄智, 金子晴香, 小林慶司, 吉田圭一, 塩澤 淳, 齋田良知, 石島旨章
2. 発表標題 HTO術後アライメントと術後臨床・画像評価の検討
3. 学会等名 第2回日本Knee Osteotomy and Joint Preservation研究会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 久保田光昭, 金 栄智, 金子晴香, 小林慶司, 吉田圭一, 塩澤 淳, 齋田良知, 石島旨章
2. 発表標題 高位脛骨骨切り術後の臨床成績に関連する単純X線画像パラメーターは内側関節裂隙と内側関節裂隙開大角である
3. 学会等名 JOSKAS-JOSSM2022
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 久保田光昭, 金栄智, 金子晴香, 小林慶司, 吉田圭一, 塩澤 淳, 斎田良知, 石島旨章
2. 発表標題 早期変形性膝関節症における膝周囲骨切り術
3. 学会等名 JOSKAS-JOSSM2022 (招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 久保田光昭, 金栄智, 金子晴香, 小林慶司, 吉田圭一, 石島旨章
2. 発表標題 高位脛骨骨切り術後の臨床評価と関連する単純X線画像パラメーターは内側関節裂隙幅と内側関節裂隙開大角である
3. 学会等名 第95回日本整形外科学会学術集会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 金栄智, 久保田光昭, 田邊浩規, 小林慶司, 金子晴香, 石島旨章
2. 発表標題 内側開大式脛骨粗面下骨切り術(OWDTO)と内側開大式高位脛骨骨切り術(OWHTO)における術後大腿四頭筋筋力が及ぼす影響
3. 学会等名 第2回日本Knee Osteotomy and Joint Preservation研究会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 金栄智, 久保田光昭, 土屋勝, 山口順一郎, 田邊浩規, 濱中貴弘, 山村拓也, 大野隆一, 石島旨章
2. 発表標題 Existence of meniscal shift in the MRI and age could be predicted hypermobility of lateral discoid meniscus after saucerization
3. 学会等名 JOSKAS-JOSSM2022
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 金子晴香, Arepati Adili, 青木孝子, 劉立足, 根岸義文, 東村潤, 若菜傑, 吉田圭一, 小林慶司, 久保田光昭, 石島旨章
2. 発表標題 中年期のKellgren-Lawrence分類グレード0でも滑膜炎を認めると骨棘は拡大する OAIデータの縦断解析
3. 学会等名 第95回日本整形外科学会学術総会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 金子晴香, 吉田圭一, 小林慶司, 東村潤, 若菜傑, 待山祐一郎, 山村拓也, 塩澤淳, 齋田良知, 久保田光昭, 石島旨章
2. 発表標題 膝関節の軟骨下脆弱性骨折(SIFK)の両側例の臨床経過
3. 学会等名 JOSKAS-JOSSM2022
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 根岸義文, 金子晴香, 青木孝子, 劉立足, 百枝雅裕, Arepati Adili, 東村潤, 若菜傑, 久保田光昭, 田村好史, 石島旨章
2. 発表標題 変形性膝関節症に伴う内側半月板断裂のリスクは内側脛骨骨棘幅が大きいほど高い 文京ヘルスタディー
3. 学会等名 第95回日本整形外科学会学術総会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 山村拓也, 劉立足, 金子晴香, 青木孝子, 根岸義文, Arepati Adili, 百枝雅裕, 待山祐一郎, 田村好史, 久保田光昭, 石島旨章
2. 発表標題 初期変形性膝関節症を呈する高齢者の脛骨内側骨棘幅は女性が男性より大きい -文京ヘルスタディー
3. 学会等名 第95回日本整形外科学会学術総会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 若菜傑, 金子晴香, 根岸義文, 百枝雅裕, 東村潤, 吉田圭一, 小林慶司, 塩澤淳, 田村好史, 久保田光昭, 石島旨章
2. 発表標題 高齢者のロコモ度は膝痛よりも日常生活の困難度と関連する-文京ヘルスタディー
3. 学会等名 JOSKAS-JOSSM 2022
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 若菜傑, 金子晴香, 根岸義文, 百枝雅裕, 東村潤, Adili Arepati, 吉田圭一, 小林慶司, 塩澤淳, 田村好史, 石島旨章
2. 発表標題 高齢者のロコモの有無と関連するMRI膝OA病変は, 骨棘と内側半月板前方及び内側逸脱である 文京ヘルスタディー
3. 学会等名 第37回日本整形外科学会基礎学術集会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 若菜傑, 金子晴香, 劉立足, 青木孝子, 羽田晋之介, 金栄智, 根岸義文, Arepati Adili, 百枝雅裕, 東村潤, 待山祐一郎, 山村拓也, 田村好史, 久保田光昭, 石島旨章
2. 発表標題 高齢者のロコモ度1は立ち上がりテストで判定されることが多い -文京ヘルスタディー
3. 学会等名 第50回日本関節病学会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 若菜傑, 金子晴香, 劉立足, 青木孝子, 根岸義文, Arepati Adili, 百枝雅裕, 東村潤, 田村好史, 久保田光昭, 石島旨章
2. 発表標題 高齢者の膝OA重症度は, 疼痛の有無や程度に関わらず, ロコモ度と関連する因子である -文京ヘルスタディー
3. 学会等名 第95回日本整形外科学会学術総会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 小林慶司, Arepati Adili, 金子晴香, 青木孝子, 劉立足, 根岸義文, 吉田圭一, 東村潤, 若菜傑, 久保田光昭, 石島旨章
2. 発表標題 中年期ではKellgren-Lawrence分類グレード0でも変形性膝関節症性変化は進行する -OAデータの縦断解析
3. 学会等名 第95回日本整形外科学会学術総会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 小林慶司, 金子晴香, 根岸義文, 吉田圭一, 東村潤, 若菜傑, 塩澤淳, 齋田良知, 久保田光昭, 石島旨章
2. 発表標題 変形性膝関節症性変化は単純X線変化前でも男女ともに進んでいる -OAデータの縦断解析
3. 学会等名 JOSKAS-JOSSM2022
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 石島旨章, 吉村祐輔, 劉立足, 金子晴香, 町田修一, 平澤恵理, 内藤久士, 木南英紀
2. 発表標題 ロコモニタープロジェクト -スマホで測定した活動量データによる運動習慣の継続的・客観的モニタリング
3. 学会等名 第95回日本整形外科学会学術総会(招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 石島旨章, 久保田光昭, 金子晴香, 羽田晋之介, 根岸義文, 吉田圭一, 小林慶司, 金栄智, 塩澤淳, 齋田良知, 根岸[古賀]貴子, 岡田保典
2. 発表標題 早期膝OAの治療にパラダイムシフトが起こすために必要な病態への理解
3. 学会等名 第72回東日本整形災害外科学会(招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 石島旨章, 金子晴香, 待山祐一郎, 劉立足, 根岸義文, Adili Arepati, 東村潤, 若菜傑, 吉田圭一, 小林慶司, 羽田晋之介, 塩澤淳, 齋田良知, 田村好史, 久保田光昭
2. 発表標題 口コモと変形性膝関節症
3. 学会等名 第33回日本運動器科学会 (招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 待山祐一郎, 劉立足, 金子晴香, 青木孝子, 根岸義文, Arepati Adili, 東村潤, 若菜傑, 田村好史, 久保田光昭, 石島旨章
2. 発表標題 大規模住民コホートの一般高齢者でも変形性膝関節症の重症度が高いと活動性が低く下肢筋力も弱い -文京ヘルスタディー-
3. 学会等名 第95回日本整形外科学会学術総会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 東村潤, 金子晴香, 根岸義文, 若菜傑, 小林慶司, 吉田圭一, 塩澤淳, 待山祐一郎, 山村拓也, 久保田光昭, 石島旨章
2. 発表標題 早期変形性膝関節症の進行リスク因子としての骨棘は大きさより幅が重要である -OAIデータの縦断解析-
3. 学会等名 JOSKAS-JOSSM2022
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 東村潤, 金子晴香, 劉立足, 青木孝子, 根岸義文, Arepati Adili, 百枝雅裕, 若菜傑, 田村好史, 久保田光昭, 石島旨章
2. 発表標題 高齢者の膝痛と関連する変形性膝関節症性病変は軟骨病変よりも軟骨下骨骨髄異常陰影及び滑膜炎である -文京ヘルスタディー-
3. 学会等名 第35回日本整形外科学会基礎学術集会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名	東村潤, 金子晴香, 劉立足, 青木孝子, 根岸義文, Arepati Adili, 百枝雅裕, 若菜傑, 田村好史, 久保田光昭, 石島旨章
2. 発表標題	高齢者の膝痛と関連する変形性膝関節症性病変は軟骨病変よりも不可逆性の軟骨下骨病変である -文京ヘルスタディー
3. 学会等名	第95回日本整形外科学会学術総会
4. 発表年	2022年

1. 発表者名	白崎駿, 中田智史, 山下由莉, 金子晴香, 石島旨章, 櫻井英俊, 平澤恵理
2. 発表標題	パールカン遺伝子変異による軟骨異常を解析する細胞モデルの構築
3. 学会等名	第37回日本整形外科学会基礎学術集会
4. 発表年	2022年

1. 発表者名	百枝雅裕, 金子晴香, 根岸義文, 青木孝子, 劉立足, Arepati Adili, 東村潤, 若菜傑, 久保田光昭, 田村好史, 石島旨章
2. 発表標題	一般高齢者の変形性膝関節症性変化における脛骨内側骨棘とビタミンD充足状態との関連 文京ヘルスタディー
3. 学会等名	第95回日本整形外科学会学術総会
4. 発表年	2022年

1. 発表者名	有田均, 金子晴香, 根岸義文, 劉立足, Arepati Adili, 東村潤, 若菜傑, 田村好史, 金勝乾, 久保田光昭, 石島旨章
2. 発表標題	変形性膝関節症の骨棘は男女を問わず骨密度が高いほど大きい 高齢者住民コホート研究:文京ヘルスタディー
3. 学会等名	第95回日本整形外科学会学術総会
4. 発表年	2022年

1. 発表者名 劉立足, 金子晴香, 青木孝子, 羽田晋之介, 金栄智, 根岸義文, Adili Arepati, 百枝雅裕, 東村潤, 待山祐一郎, 山村拓也, 田村好史, 久保田光昭, 石島旨章
2. 発表標題 高齢者の骨密度は50歳代以降の運動習慣があると高い 文京ヘルスタディー
3. 学会等名 第50回日本関節病学会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 石島旨章
2. 発表標題 変形性膝関節症の病態に則した治療の実現を目指して - " 研究を行うことの意義 " を考え歩んだ25年から次世代の若き整形外科医へ
3. 学会等名 第22回Orthopedic None and Mineral Metabolism Group (OBMMG) (招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 石島旨章
2. 発表標題 変形性膝関節症の病態に則した治療を目指して ~Kellgren・Lawrence両博士の教示から学ぶ~
3. 学会等名 第12回Orthopedc Research Club (ORC) (招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 石島旨章
2. 発表標題 早期変形性膝関節症 -病態に則した治療の実現を目指した現状と展望-
3. 学会等名 第3回びわ湖肩・膝スポーツ研究会 (招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 石島旨章
2. 発表標題 変形性膝関節症の病態・診断・治療
3. 学会等名 令和2年度 第4回東京都臨床整形外科医会統合研修会（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 石島旨章
2. 発表標題 変形性膝関節症の病態・診断・治療のアップデート
3. 学会等名 信州脊椎・関節・リウマチ疾患研究会2022（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 石島旨章
2. 発表標題 早期変形性膝関節症 -病態に則した治療の実現を目指した現状と展望-
3. 学会等名 整形外科勤務医会神奈川支部講演会（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 石島旨章
2. 発表標題 口コモ原因疾患としての骨粗鬆症と変形性膝関節症 -接点と相違点から原因と治療を考える-
3. 学会等名 多摩脊椎カンファレンス（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 石島旨章
2. 発表標題 早期変形性膝関節症 -病態に則した治療の実現を目指した現状と展望-
3. 学会等名 会津整形外科医会 (招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 石島旨章
2. 発表標題 変形性膝関節症の病態と疼痛の関連
3. 学会等名 JOSKAS-JOSSM 2022 (招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 石島旨章
2. 発表標題 変形性膝関節症の病態解析より明らかになりつつある進行過程
3. 学会等名 先進リウマチ・関節疾患研究会 (招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 石島旨章
2. 発表標題 口コモ原因疾患としての骨粗鬆症と変形性膝関節症 -接点と相違点から原因と治療を考える-
3. 学会等名 第45回整形外科アップデート (招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Muneaki Ishijima
2. 発表標題 In what order does osteoarthritis of the knee develop?
3. 学会等名 16th International Workshop in Osteoarthritis Imaging (IWOAI) 2022 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 石島旨章
2. 発表標題 変形性膝関節症の病態に則した治療の実現を目指した現状と展望
3. 学会等名 第50回御茶ノ水整形外科卒後研修セミナー (招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 石島旨章
2. 発表標題 変形性膝関節症の病態に則した治療の実現を目指した現状と展望
3. 学会等名 西新宿整形外科研究会サマーセミナー2022 (招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 石島旨章
2. 発表標題 変形性膝関節症の疼痛の機序と治療
3. 学会等名 さっぽろ下肢懇話会 (招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 石島旨章
2. 発表標題 変形性膝関節症の病態に則した治療の実現を目指した現状と展望
3. 学会等名 名古屋整形外科セミナー（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Muneaki Ishijima
2. 発表標題 In what order does osteoarthritis of the knee develop?
3. 学会等名 1st Asian Conference of Cartilage and Osteoarthritis (ACCO)（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 石島旨章
2. 発表標題 変形性膝関節症の病態に則した治療を目指して ～Kellgren・Lawrence両博士の教示から学ぶ～
3. 学会等名 第24回北東京整形外科医療連携フォーラム（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 石島旨章
2. 発表標題 人生100年時代のロコモティブシンドローム対策 -青年期から老年期に至る運動器の機能維持による健康増進の実際-
3. 学会等名 第28回順天堂大学医師会産業医研修会・健康スポーツ医再研修会（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 石島旨章
2. 発表標題 骨粗鬆症と変形性膝関節症の病態に則した治療 - 共通点と相違点からの考察
3. 学会等名 運動器の評価と治療を考える会 (招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 石島旨章
2. 発表標題 口コモティブシンドロームと「早期」変形性膝関節症
3. 学会等名 第61回関東整形災害外科学会 (招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 石島旨章
2. 発表標題 口コモ原因疾患としての骨粗鬆症と変形性膝関節症 -病態の共通点と相違点から治療を考える-
3. 学会等名 第136回中部日本整形災害外科学会学術集会 (招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Haruka Kaneko, Lizu Liu, Takako Aoki, Yoshifumi Negishi, Masahiro Momoeda, Adili Arepati, Jun Tomura, Suguru Wakana, Muneaki Ishijima
2. 発表標題 Association between subchondral insufficiency fracture of the knee joint (SIFK) and osteoarthritis of the knee
3. 学会等名 OARSI (Osteoarthritis Research Society International) 2021 (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Yoshifumi Negishi, Haruka Kaneko, Takako Aoki, Lizu Liu, Masahiro Momoeda, Adili Arepati, Xiang Ji, Hui Huang, Jun Tomura, Suguru Wakana, Yuki Someya, Yoshifumi Tamura, Yoshitaka Watada, Ryuzo Kawamori, Muneaki Ishijima
2. 発表標題 Medial meniscus extrusion is more strongly associated with tibial osteophyte width than the femur in osteoarthritis of the knee
3. 学会等名 OARSI (Osteoarthritis Research Society International) 2021 (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Masahiro Momoeda, Haruka Kaneko, Takako Aoki, Lizu Liu, Yoshifumi Negishi, Adili Arepati, Xiang Ji, Hui Huang, Jun Tomura, Suguru Wakana, Yuki Someya, Yoshifumi Tamura, Yoshitaka Watada, Ryuzo Kawamori, Muneaki Ishijima
2. 発表標題 Association between medial and anterior meniscal extrusion and knee pain in primary stage of knee osteoarthritis
3. 学会等名 OARSI (Osteoarthritis Research Society International) 2021 (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Jun Tomura, Haruka Kaneko, Yoshifumi Negishi, Takako Aoki, Lizu Liu, Masahiro Momoeda, Adili Arepati, Suguru Wakana, Yuki Someya, Yoshifumi Tamura, Ryuzo Kawamori, Muneaki Ishijima
2. 発表標題 Walking speed is associated with MRI-detected structural changes of the knee osteoarthritis in healthy elderlies -The Bunkyo Health Study-
3. 学会等名 OARSI (Osteoarthritis Research Society International) 2021 (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Suguru Wakana, Haruka Kaneko, Yoshihumi Negish, Takako Aoki, Lizu Liu, Masahiro Momoeda, Arepati Adiri, Jun Tohmura, Yuki Someya, Yoshihumi Tamura, Ryuzo Kawamori, Muneaki Ishijima
2. 発表標題 Motility of healthy elderlies with knee pain are impaired in compasiron to that of those without knee pain -The Bunkyo Health Study-
3. 学会等名 OARSI (Osteoarthritis Research Society International) 2021 (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Lizu Liu, Haruka Kaneko, Takako Aoki, Yoshifumi Negishi, Masahiro Momoeda, Suguru Wakana, Jun Tomura, Yuki Someya, Yoshifumi Tamura, Hiroataka Watada, Ryuzo Kawamori, Muneaki Ishijima
2. 発表標題 Association between MRI-detected osteophyte formation and bone mineral density in elderlies- A cross-sectional analysis using a population-based cohort study “ the Bunkyo Health Study ”
3. 学会等名 OARSI (Osteoarthritis Research Society International) 2021 (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Adili Arepati, Haruka Kaneko, Yoshifumi Negishi, Lizu Liu, Takako Aoki, Masahiro Momoeda, Suguru Wakana, Jun Tomura, Yuki Someya, Yoshifumi Tamura, Yoshitaka Watada, Ryuzo Kawamori, Muneaki Ishijima
2. 発表標題 Meniscus is extruded not only medially but also anteriorly and radial displaced meniscus is associated with cartilage destruction in knee osteoarthritis
3. 学会等名 OARSI (Osteoarthritis Research Society International) 2021 (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 石島旨章, 金子晴香, 根岸義文, 有田均, 劉立足, 青木孝子, 百枝雅裕, アルパティ アディリ, 東村潤, 若菜傑, 田村好史, 岡田保典
2. 発表標題 早期膝OAのバイオマーカー
3. 学会等名 第94回日本整形外科学会学術総会 シンポジウム (招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 石島旨章
2. 発表標題 早期変形性膝関節症の病態・診断・治療 -疾患修飾型治療法開発に向けて今必要なこと-
3. 学会等名 第94回日本整形外科学会学術総会 教育研修講演 (招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 金子晴香, 根岸義文, 百枝雅裕1 武田純, 青木孝子, 劉立足, アルパティ アディリ, 東村潤, 若菜傑, 石島旨章
2. 発表標題 膝関節の軟骨下脆弱性骨折(Subchondral insufficiency fracture of the knee joint: SIFK)と変形性膝関節症の関連
3. 学会等名 第94回日本整形外科学会学術総会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 根岸義文, 金子晴香, 青木孝子, 劉立足, 百枝雅裕, アルパティ アディリ, 東村潤, 若菜傑, 田村好史, 河盛隆造, 金子和夫, 石島旨章
2. 発表標題 変形性膝関節症における内側半月板逸脱は大腿骨よりも脛骨骨棘幅とより強く関連する -文京ヘルスタディー-
3. 学会等名 第94回日本整形外科学会学術総会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 若菜傑, 金子晴香, 根岸義文, 青木孝子, 劉立足, 百枝雅裕, アルパティ アディリ, 東村潤, 染谷由季, 田村好史, 河盛隆造, 石島旨章
2. 発表標題 健康高齢者のロコモ度3と変形性膝関節症性との関連 -文京ヘルスタディー-
3. 学会等名 第94回日本整形外科学会学術総会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 百枝雅裕, 金子晴香, 根岸義文, 青木孝子, 劉立1, アルパティ-アディリ, 東村潤, 若菜傑, 染谷由季, 田村好史, 綿田裕孝, 石島旨章
2. 発表標題 初期初期変形性膝関節症における内側及び前方への半月板逸脱と痛みの関連変形性膝関節症における内側及び前方への半月板逸脱と痛みの関連
3. 学会等名 第94回日本整形外科学会学術総会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 アルバティ アディリ, 金子晴香, 根岸義文, 青木孝子, 劉立足, 百枝雅裕, 東村潤, 若菜傑, 染谷由季, 田村好史, 河盛隆造, 石島旨章
2. 発表標題 変形性膝関節症における半月板逸脱は内側のみでなく前方にも発生し軟骨摩耗と関連する
3. 学会等名 第94回日本整形外科学会学術総会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 石島旨章
2. 発表標題 変形性膝関節症の疼痛の病態と治療のアップデート
3. 学会等名 第94回日本整形外科学会学術総会 ランチョンセミナー (招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 石島旨章
2. 発表標題 変形性膝関節症における骨棘・半月板逸脱の評価
3. 学会等名 第13回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会(JOSKAS) シンポジウム (招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 石島旨章
2. 発表標題 活動性維持を目指した変形性膝関節症の治療戦略
3. 学会等名 第13回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会(JOSKAS) ランチョンセミナー (招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 金子晴香, 根岸義文, 百枝雅裕, 吉田圭一, 東村潤, 若菜傑, 劉立足, アルパティ アディリ, 齋田良知, 久保田光昭, 石島旨章
2. 発表標題 膝関節の軟骨下脆弱性骨折(SIFK)における半月板逸脱と骨棘の関連
3. 学会等名 第13回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会(JOSKAS)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 根岸義文, 金子晴香, 青木孝子, 劉立足, 百枝雅裕, アルパティ アディリ, 東村潤, 若菜傑, 田村好史, 河盛隆造, 石島旨章
2. 発表標題 変形性膝関節症に伴う半月板断裂のリスクは単純X線上の内側脛骨骨棘幅から推定できる
3. 学会等名 第13回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会(JOSKAS)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 東村潤, 金子晴香, 根岸義文, 青木孝子, 劉立足, 百枝雅裕, アルパティ アディリ, 若菜傑, 染谷由季, 田村好史, 石島旨章
2. 発表標題 健康高齢者の歩行速度は変形性膝関節症性構造変化と関連する -文京ヘルスタディー-
3. 学会等名 第13回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会(JOSKAS)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 塩澤淳, Susana de Vega, 良永知穂, 中村智美, 吉田浩之, 金子晴香, 金子和夫, 石島旨章, 岡田保典
2. 発表標題 新規ヒアルロニダーゼHYBID及びTMEM2の膝OA関節軟骨組織における機能解析
3. 学会等名 第13回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会(JOSKAS)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 有田均, 金子晴香, 若菜傑, 根岸義文, 劉立足, 青木孝子, 百枝雅裕, 東村潤, 染谷由希, 田村好史, 石島旨章
2. 発表標題 初期変形性膝関節症における内側半月板逸脱と血中リン濃度の関連 -文京ヘルスタディー-
3. 学会等名 第13回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会(JOSKAS)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 吉田圭一, 森川大智, 糸魚川善昭, 丸山祐一郎, 金子晴香, 齋田良知, 石島旨章
2. 発表標題 腱膜損傷を伴う肉離れの運動復帰期間は腱損傷サイズと関連する
3. 学会等名 第13回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会(JOSKAS)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 石島旨章
2. 発表標題 変形性膝関節症の疼痛の病態と治療
3. 学会等名 第51回日本人工関節学会 ランチョンセミナー(招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 石島旨章
2. 発表標題 口コモ原因疾患としての変形性膝関節症 - 「早期」の病態解析から明らかになってきたこと-
3. 学会等名 第70回東日本整形災害外科学会 教育研修講演(招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 石島旨章
2. 発表標題 口コモ原因疾患としての骨粗鬆症治療の現状と展望
3. 学会等名 第34回日本臨床整形外科学会学術集会 ランチョンセミナー（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 石島旨章
2. 発表標題 変形性膝関節症の痛みの病態と治療の考え方
3. 学会等名 第49回日本関節病学会 ランチョンセミナー（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 石島旨章
2. 発表標題 早期変形性膝関節症と半月板の機能異常
3. 学会等名 第49回日本関節病学会 教育研修講演（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Arepati Adili, 黄輝, 金子晴香, 青木孝子, 根岸義文, 劉立足, 百枝雅裕, 東村潤, 若菜傑, 吉田圭一, 小林慶司, 久保田光昭, 田村好史, 石島旨章
2. 発表標題 内側半月板逸脱は高齢者の膝痛のリスク因子である 文京ヘルスタディー（BHS）
3. 学会等名 第49回日本関節病学会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 金子晴香, 劉立足, アルパティ アディリ, 東村潤, 若菜傑, 根岸義文, 百枝雅裕, 青木孝子, 小林慶司, 吉田圭一, 久保田光昭, 石島旨章
2. 発表標題 膝関節の軟骨下骨脆弱性骨折(Subchondral insufficiency fracture of the knee joint: SIFK)と関節裂隙狭小化の経時変化
3. 学会等名 第49回日本関節病学会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 石島旨章
2. 発表標題 第14回日本運動器疼痛学会 ランチョンセミナー
3. 学会等名 変形性膝関節症の病態と治療のアップデート: Part 1 (招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 石島旨章
2. 発表標題 第14回日本運動器疼痛学会 ランチョンセミナー
3. 学会等名 変形性膝関節症の病態と治療のアップデート: Part 2 (招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 石島旨章
2. 発表標題 第1回日本Knee Osteotomy and Joint Preservation研究会
3. 学会等名 早期膝OAに対する骨切り術の可能性と限界 (招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Huang H, Ishijima M, Kaneko H, Liu L, Aoki T, Negishi Y, Momoeda M, Ganao M, Tamura Y, Kawamori R, Kaneko K
2. 発表標題 Medial meniscus extrusion is a risk factor for knee pain in elderlies who didn't need clinical care on their knee - The Bunkyo Healthy Study
3. 学会等名 Osteoarthritis Cartilage, 28:S155 (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Negishi Y, Ishijima M, Kaneko H, Aoki T, Liu L, Arita H, Momoeda M, Arepati A, Ji X, Huang H, Someya Y, Tamura Y, Watada Y, Kawamori R, Kaneko K.
2. 発表標題 Osteophyte can be accurately evaluated by the proton density weighted fat suppression images on MRI
3. 学会等名 Osteoarthritis Cartilage, 28:S276-S277 (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Negishi Y, Ishijima M, Kaneko H, Aoki T, Liu L, Arita H, Momoeda M, Arepati A, Ji X, Huang H, Someya Y, Tamura Y, Watada Y, Kawamori R, Kaneko K
2. 発表標題 Medial meniscus extrusion (MME) is associated with tibial osteophyte width in elderly populations -The Bunkyo Health Study
3. 学会等名 Osteoarthritis Cartilage, 28:S288-S289 (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Aoki T, Ishijima M, Kaneko H, Liu L, Negishi Y, Momoeda M, Adili A, Tamura Y
2. 発表標題 Meniscal degeneration in medial meniscus is associated with medial meniscal extrusion in elderly populations -The Bunkyo Health Study-
3. 学会等名 Osteoarthritis Cartilage, 28:S291-S292 (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Liu L, Ishijima M, Kaneko H, Aoki T, Negishi Y, Momoeda M, Someya Y, Tamura Y, Watada Y, Kawamori R, Kaneko K
2. 発表標題 Vitamin D levels are inversely associated with osteophyte formation in elderly women, but not men - A population-based cohort study "The Bunkyo Health Study"
3. 学会等名 Osteoarthritis Cartilage, 28:S293-S294 (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Arepati A, Ishijima M, Kaneko H, Aoki T, Liu L, Negishi Y, Momoeda M, Arita H, Ji X, Hung H, Someya Y, Tamura Y, Watada U, Kawamori R, Kaneko K.
2. 発表標題 Osteophyte formation is associated with synovitis in osteoarthritis -The Bunkyo Health Study
3. 学会等名 Osteoarthritis Cartilage, 28:S112-S113 (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Arepati A, Ishijima M, Kaneko H, Aoki T, Liu L, Negishi Y, Liu L, Arita H, Momoeda M, Ji X, H, Someya Y, Tamura Y, Watada U, Kawamori R, Kaneko K
2. 発表標題 The osteophyte widths of the anterior lesion of tibia are longer than those of the medial lesion of tibia in elderlies -The Bunkyo Health Study
3. 学会等名 Osteoarthritis Cartilage, 28:S294 (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Kaneko H, Ishijima M, Aoki T, Negishi Y, Liu L, Arita H, Momoeda M, Arepati A, Someya Y, Tamura Y, Watada Y, Kawamori R, Kaneko K.
2. 発表標題 Prevalence of medial meniscus extrusion in elderly persons -The Bunkyo Health Study-
3. 学会等名 Osteoarthritis Cartilage, 28:S294-S295 (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Momoeda M, Kaneko H, Liu L, Hada S, Arita H, Aoki T, Kinoshita M, Negishi Y, Someya Y, Tamura Y, Watada Y, Kawamori R, Okada Y, Kaneko K, Ishijima M
2. 発表標題 Association between medial meniscus extrusion in knee osteoarthritis and Locomotive syndrome in the elderly population -The Bunkyo Health Study-
3. 学会等名 Osteoarthritis Cartilage, 28:S301 (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Pathology of meniscus extrusion and cartilage destruction in early-stage knee osteoarthritis
2. 発表標題 Ishijima M
3. 学会等名 第93回日本整形外科学会学術総会 (招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 黄輝, 石島旨章, 金子晴香, 劉立足, 青木孝子, 根岸義文, 百枝雅裕, 長尾雅史, 田村好史, 河盛隆造, 金子和夫
2. 発表標題 高齢者住民コホートの進行期変形性膝関節症でも初期より移動機能は低下している -スポーツロジコアスタディー-
3. 学会等名 第93回日本整形外科学会学術総会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 根岸義文, 石島旨章, 金子晴香, 劉立足, 青木孝子, 有田均, 塩澤淳, 百枝雅裕, アルパティ アディリ, 田村好史, 河盛隆造, 金子和夫
2. 発表標題 変形性膝関節症発症及び進行に関わる因子・内側半月板逸脱が骨棘幅より大きくなるリスク因子 -スポーツロジコアスタディー-
3. 学会等名 第93回日本整形外科学会学術総会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 根岸義文, 石島旨章, 金子晴香, 劉立足, 青木孝子, 有田均, 塩澤淳, 百枝雅裕, アルパティ アディリ, 田村好史, 河盛隆造, 金子和夫
2. 発表標題 変形性膝関節症の発症及び進行リスク因子・内側半月板逸脱は脛骨骨棘幅と関連する -スポーツロジコアスタディー-
3. 学会等名 第93回日本整形外科学会学術総会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 金子晴香, 石島旨章, 根岸義文, 劉立足, 青木孝子, 有田均, 百枝雅裕, 塩澤淳1, アルパティ アディリ, 田村好史, 河盛隆造, 金子和夫
2. 発表標題 高齢者の変形性膝関節症と半月板逸脱の有病率 -高齢者住民コホート研究・スポーツロジコアスタディー-
3. 学会等名 第93回日本整形外科学会学術総会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 金子晴香, 石島旨章, 根岸義文, 劉立足, 青木孝子, 有田均, 百枝雅裕, 塩澤淳, アルパティ アディリ, 田村好史, 河盛隆造, 金子和夫
2. 発表標題 高齢者の変形性膝関節症と内側半月板損傷と断裂の有病率 -高齢者住民コホート研究・スポーツロジコアスタディー-
3. 学会等名 第93回日本整形外科学会学術総会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 吉村祐輔, 石島旨章, 金子晴香, 長尾雅史, 石橋雅義, 平澤(有川)恵理, 町田修一, 内藤久士, 金子和夫, 木南英紀
2. 発表標題 青壮年のロコモと活動性の関連 -ResearchKitアプリ「ロコモニタープラス」を用いた全国規模調査
3. 学会等名 第93回日本整形外科学会学術総会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 百枝雅裕, 石島旨章, 金子晴香, 劉立足, 青木孝子, 根岸義文, 有田均, 塩澤淳, アルパティ アディリ, 田村好史, 河盛隆造, 金子和夫
2. 発表標題 高齢者住民コホートにおけるロコモ度と変形性膝関節症に伴う半月板逸脱との関連 -スポーツロジコアスタディー-
3. 学会等名 第93回日本整形外科学会学術総会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 石島旨章
2. 発表標題 変形性膝関節症の病態に則した治療 -健康寿命延伸の実現に向けて今できること-
3. 学会等名 第93回日本整形外科学会学術総会（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 石島旨章, 金子晴香, 有田均, 塩澤淳, 根岸義文, 百枝雅裕, 劉立足, 青木孝子, 季翔, アルパティ・アディリ, 羽田晋之介, 福里晋, 若山貴則, 内野小百合, 長尾雅史, 永山正隆, 斎田良知, 高澤祐治, 池田浩, 田村好史, 綿田裕孝, 河盛隆造, 岡田保典, 金子和夫
2. 発表標題 変形性関節症の病態：臨床研究からの知見
3. 学会等名 第64回日本リウマチ学会総会・学術集会（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 石島旨章
2. 発表標題 生涯にわたる骨粗鬆症の治療の実際
3. 学会等名 第69回東日本整形災害外科学会（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 石島旨章
2. 発表標題 非定型大腿骨骨折の病態とその制御
3. 学会等名 第35回日本整形外科学会基礎学術集会（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 石島旨章
2. 発表標題 変形性膝関節症の疼痛の病態と治療のアップデート
3. 学会等名 第47回日本股関節学会（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 石島旨章
2. 発表標題 早期膝OAにおける活動性低下と軟骨下骨病変の関連
3. 学会等名 第48回日本関節病学会（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 石島旨章
2. 発表標題 早期変形性膝関節症とbone marrow lesion
3. 学会等名 第48回日本関節病学会（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 石島旨章
2. 発表標題 口コモ原因疾患としての骨粗鬆症と変形性膝関節症 -共通点と相違点から病態 と治療を考える-
3. 学会等名 第140回西日本整形・災害外科学会（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 金子晴香, 石島旨章, 根岸義文, 劉立足, 青木孝子, 百枝雅裕, アルパティ・アディリ, 武田純, 高澤祐治, 池田浩, 金子和夫
2. 発表標題 末期変形性膝関節症のMRI上の病態における手術のリスク因子の検討
3. 学会等名 第12回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会(JOSKAS)・第46回日本整形外科スポーツ医学会学術集会(JOSSM)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 有田均, 金子晴香, 石島旨章, 根岸義文, 劉立足, 青木孝子, 百枝雅裕, アルパティ・アディリ, 高澤祐治, 池田浩, 金子和夫
2. 発表標題 変形性膝関節症のMRI上の骨髄異常陰影と関連する病態
3. 学会等名 第12回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会(JOSKAS)・第46回日本整形外科スポーツ医学会学術集会(JOSSM)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 根岸義文, 石島旨章, 金子晴香, 劉立足, 青木孝子, 百枝雅裕, アルパティ・アディリ, 有田均, 塩澤淳, 武田純, 金子和夫
2. 発表標題 MRIプロトン強調脂肪抑制画像を用いた骨棘幅の新たな評価測定法
3. 学会等名 第12回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会(JOSKAS)・第46回日本整形外科スポーツ医学会学術集会(JOSSM)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 百枝雅裕, 石島旨章, 金子晴香, 劉立足, 青木孝子, 根岸義文, アルバティ・アディリ, 有田均, 塩澤淳, 武田純, 金子和夫
2. 発表標題 単純X線にて内側半月板逸脱幅が推定可能である -文京ヘルスタディー-
3. 学会等名 第12回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会(JOSKAS)・第46回日本整形外科学会スポーツ医学会学術集会(JOSSM)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Kaneko H, Arepati A, Arita H, Aoki T, Negishi Y, Momoeda M, Hada S, Liu L, Okada Y, Kaneko K, Ishijima I
2. 発表標題 Osteophytes Formation Processes in Early Stage Knee Osteoarthritis in Human
3. 学会等名 OARSI (Osteoarthritis Research Society International) 2019 World Congress (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Hada S, Ishijima M, Kaneko H, Liu L, Arita H, Aoki T, Takazawa Y, Ikeda H, Nishiura T, Okada Y, Kaneko K
2. 発表標題 The degeneration of medial meniscus in meniscal body and posterior horn shows a greater change than that in anterior horn according to the severity of medial meniscus extrusion in early- to primary-stage knee osteoarthritis
3. 学会等名 OARSI (Osteoarthritis Research Society International) 2019 World Congress (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Aoki T, Ishijima M, Kaneko H, Negishi Y, Liu L, Arita H, Momoeda M, Tamura Y, Watada H, Kawamori R, Kaneko K
2. 発表標題 Association between medial meniscus extrusion (MME) and region of meniscal tear in middle aged and elderly population cohort -A Sportology Core Study2-
3. 学会等名 OARSI (Osteoarthritis Research Society International) 2019 World Congress (国際学会)
4. 発表年 2019年

1 . 発表者名 Arita H, Kaneko H, Kinoshita M, Hada S, Sadatsuki R, Futami I, Negishi Y, Momoeda M, Liu L, Aoki T, Arikawa-Hirasawa E, Kaneko K, Ishijima M
2 . 発表標題 Role of synovial Perlecan in osteophyte formation in early stage knee osteoarthritis
3 . 学会等名 OARSI (Osteoarthritis Research Society International) 2019 World Congress ( 国際学会 )
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 Negishi Y, Ishijima M, Kaneko H, Aoki T, Liu L, Arita H, Momoeda M, Hada S, Tamura Y, Watada Y, Kawamori R, Kaneko K
2 . 発表標題 Association between the osteophyte width, medial meniscus extrusion (MME), and meniscal tear in middle- and elderly- population cohort -A Sportology Core Study2-
3 . 学会等名 OARSI (Osteoarthritis Research Society International) 2019 World Congress ( 国際学会 )
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 Momoeda M, Kaneko H, Liu L, Hada S, Arita H, Aoki T, Kinoshita M, Negishi Y, Okada Y, Kaneko K, Ishijima M
2 . 発表標題 Association between vitamin D status and mineralization disorder of osteophyte in middle aged and elderly population with Kellgren-Lawrence grade 2 of knee osteoarthritis -A Sportology Core Study 2
3 . 学会等名 3.OARSI (Osteoarthritis Research Society International) 2019 World Congress ( 国際学会 )
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 Huang H, Ishijima M, Kaneko H, Liu L, Aoki T, Arita T, Negishi Y, Momoeda M, Nagao M, Kaneko K
2 . 発表標題 Defining thresholds for the Kellgren-Lawrence grading between 2 and 3 for the Japanese Knee Osteoarthritis Measure questionnaire for urban inhabitants more than 65-year old
3 . 学会等名 3.OARSI (Osteoarthritis Research Society International) 2019 World Congress ( 国際学会 )
4 . 発表年 2019年

1. 発表者名 Shimura Y, Kurosawa H, Tsuchiya M, Kaneko H, Iwase Y, Kaneko K, Ishijima M
2. 発表標題 Synovial IL-1Ra levels are correlated with synovial IL-6 and serum IL-1Ra levels in patients with knee osteoarthritis
3. 学会等名 3.OARSI (Osteoarthritis Research Society International) 2019 World Congress (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 石島旨章
2. 発表標題 ロコモ原因疾患としての変形性膝関節症の病態に則した治療
3. 学会等名 第92回日本整形外科学会学術総会 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 羽田晋之介, 石島旨章, 金子晴香, 青木孝子, 有田均, 高澤祐治, 池田浩, 西浦高志, 岡田保典, 金子和夫
2. 発表標題 初期変形性膝関節症における内側半月板の変性は前節より中節と後節が先行する
3. 学会等名 第92回日本整形外科学会学術総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 吉村祐輔, 石島旨章, 金子晴香, 長尾雅史, 石橋雅義, 平澤恵理, 町田修一, 内藤久士, 金子和夫, 木南英紀
2. 発表標題 青壮年期のロコモのリスク増強及び軽減因子 -ResearchKitアプリ「ロコモニター」を用いた全国規模調査
3. 学会等名 第92回日本整形外科学会学術総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 黄輝, 石島旨章, 金子晴香, 劉立足, 青木孝子, 有田均, 根岸義文, 百枝雅裕, 長尾雅史, 金子和夫
2. 発表標題 高齢者住民コホートの進行期膝OAは初期より患者立脚型機能評価は低下する -スポーツロジコアスタディー
3. 学会等名 第92回日本整形外科学会学術総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 劉立足, 石島旨章, 金子晴香, 青木孝子, 黄輝, 有田均, 根岸義文, 百枝雅裕, 池田浩, 金子和夫
2. 発表標題 高齢者の進行期変形性膝関節症は初期より運動機能と下肢筋力は低下する -スポーツロジコアスタディー2
3. 学会等名 第92回日本整形外科学会学術総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 根岸義文, 石島旨章, 金子晴香, 劉立足, 青木孝子, 有田均, 百枝雅裕, 羽田晋之介, 河盛隆造, 金子和夫
2. 発表標題 高齢者のロコモ度と関連する半月板病変は半月板断裂でなく逸脱である -スポーツロジコアスタディー2
3. 学会等名 第92回日本整形外科学会学術総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Sakamoto Y, Nakano S, Suzuki M, Tokita A, Shimizu T, Kaneko K, Nozawa M, Ishijima M
2. 発表標題 Vitamin D level of toddlers with “physiologic” genu varum is lower than that of control toddlers: 1:2 case-control study
3. 学会等名 2019Annual Meeting of Pediatric Orthopaedic Society of North America (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Ishijima M, Kaneko K
2. 発表標題 Treatment strategy for knee OA from the point of view of the mechanism of cartilage destructions
3. 学会等名 第11回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会(JOSKAS)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Ishijima M
2. 発表標題 Pathophysiology of meniscus extrusion in early stage knee OA
3. 学会等名 第11回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会(JOSKAS)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Ishijima M
2. 発表標題 Cartilage, synovium, osteophyte and medial meniscal extrusion -How are they associated in early-stage knee osteoarthritis?
3. 学会等名 International Combined Orthopaedic Research Societies (ICORS) 2019 Annual Meeting (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Ishijima M
2. 発表標題 "Early" Knee OA -Developmental process of the disease-
3. 学会等名 International Musculoskeletal Society (IMS) 2019 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Ishijima M
2. 発表標題 HTO: High tibial Osteotomy
3. 学会等名 International Musculoskeletal Society (IMS) 2019 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Ishijima M
2. 発表標題 Arthroscopic Surgery for Knee OA
3. 学会等名 International Musculoskeletal Society (IMS) 2019 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Sakamoto Y, Nakano S, Suzuki M, Tokita A, Shimizu T, Kaneko K, Kim SG, Ishijima M
2. 発表標題 Vitamin D level of toddlers with “physiologic” genu varum is lower than that of control toddlers: 1:2 case-control study
3. 学会等名 American Society for Bone and Mineral Research (ASBMR) 2019 Annual Meeting (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 青木孝子, 石島旨章, 金子晴香, 根岸義文, 劉立足, 有田均, 百枝雅裕, 田村好史, 綿田裕孝, 河盛隆造, 金子和夫
2. 発表標題 後根損傷を伴う内側半月の逸脱距離は他の損傷部位の半月板逸脱距離よりも大きい
3. 学会等名 第47回日本磁気共鳴医学会大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 青木孝子, 石島旨章, 金子晴香, 根岸義文, 劉立足, 有田均, 百枝雅裕, 田村好史, 綿田裕孝, 河盛隆造, 金子和夫
2. 発表標題 高齢者住民コホート研究における年代別半月板逸脱幅と半月板病変の調査
3. 学会等名 第47回日本磁気共鳴医学会大会 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 長尾雅史, 前田衣里, 石島旨章, 金子和夫
2. 発表標題 デノスマブ初回投与後の骨密度増加作用に対する併用するビタミンD製剤による効果の比較
3. 学会等名 第21回日本骨粗鬆症学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 石島旨章, 金子晴香, 有田均, 根岸義文, 百枝雅裕, 青木孝子, 劉立足, 黄輝, 塩澤淳, アルパティ・アディリ, 長尾雅史, 齋田良知, 高澤祐治, 池田浩, 田村好史, 綿田裕孝, 河盛隆造, 岡田保典, 金子和夫
2. 発表標題 高齢者の口コモに影響を与える変形性膝関節症の病態
3. 学会等名 第37回日本骨代謝学会学術集会 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 金子晴香, 石島旨章, 田中智美, 多賀祐喜, 平澤 (有川) 恵理, 田中啓友, 水野一乗, 楠畑雅, 服部俊治, 金子和夫
2. 発表標題 変形性膝関節症新規バイオマーカー・コラ来糖鎖修飾ヒドロキシリジンの有効性評価: 診断能の検討
3. 学会等名 第34回日本整形外科学会基礎学術集会,
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 有田均, 金子晴香, 木下真由子, 羽田晋之介, 定月亮, 二見一平, 根岸義文, 百枝雅裕, 劉立足, 青木孝子, 平澤(有川)恵理, 金子和夫, 石島旨章
2. 発表標題 早期変形性膝関節症の骨棘形成における滑膜に発現するperlecanの機能解析
3. 学会等名 第34回日本整形外科学会基礎学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 根岸義文, 石島旨章, 金子晴香, 劉立足, 青木孝子, 有田均, 百枝雅裕, 羽田晋之介, 河盛隆造, 岡田保典, 金子和夫
2. 発表標題 膝蓋下脂肪体(Hoffa's fat pad)と脛骨前方骨棘との関連 -スポーツロジコアスタディー-
3. 学会等名 第34回日本整形外科学会基礎学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 百枝雅裕, 金子晴香, 石島旨章, 根岸義文, 有田均, 劉立足, 青木孝子, 羽田晋之介, 河盛隆造, 岡田保典, 金子和夫
2. 発表標題 初期変形性膝関節症における脛骨の骨棘長の位置的差異 -前方骨棘及び後方骨棘の比較
3. 学会等名 第34回日本整形外科学会基礎学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 塩澤淳, Susana de Vega, Mehmet Z. Cilek, 良永知穂, 中村智美, 笠松慎也, 吉田浩之, 金子晴香, 石島旨章, 金子和夫, 岡田保典
2. 発表標題 IL-6を介した変形性関節症滑膜線維芽細胞によるHYBID (KIAA1199) 過剰発現は関節液中ヒアルロン酸分解に関わる
3. 学会等名 第34回日本整形外科学会基礎学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 金子晴香, 有田均, 高澤祐治, 石島旨章, 永山正隆, 長尾雅史, 齋田良知, 池田浩, 金子和夫
2. 発表標題 当院におけるロ テ-ション・ヒンジ型人工膝関節置換術の短・中期成績
3. 学会等名 第48回日本人工関節学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 金子晴香, 有田均, 劉立足, 石島旨章, 高澤祐治, 池田浩, 金子和夫
2. 発表標題 人工膝単顆置換術と人工膝関節全置換術施行患者の術前MRI所見の比較
3. 学会等名 第48回日本人工関節学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 佐々恵太, 金子晴香, 石島旨章, 金子和夫
2. 発表標題 人工膝関節全置換術(TKA)周術期に認めた静脈血栓塞栓症(VTE)の予後調査.
3. 学会等名 第58回関東整形災害外科学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 塩澤淳, 金子晴香, 金子和夫, 石島旨章
2. 発表標題 血清多価不飽和脂肪酸と人工膝関節全置換術後の深部静脈血栓症発生との関連.
3. 学会等名 第58回関東整形災害外科学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Momoeda M, Kaneko H, Liu L, Hada S, Arita H, Aoki T, Kinoshita M, Negishi Y, Okada Y, Kaneko K, Ishijima M
2. 発表標題 Vitamin D status is associated with mineralization of osteocyte in patients with knee osteoarthritis
3. 学会等名 Osteoarthritis Research Society International (OARSI) 2018 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Liu L, Ishijima M, Kaneko H, Hada S, Arita H, Aoki T, Negishi Y, Momoeda M, Someya Y, Tamura Y, Watada H, Kawamori R, Kaneko K
2. 発表標題 Mobility and muscular power of lower limbs in elderly without knee pain with Kellgren-Lawrence (K/L) grade 3 of knee osteoarthritis (OA) were inferior to those in elderly without knee pain with K/L grade 2 of knee OA -A population-based cohort study " Sportology Core Study 2 "
3. 学会等名 Osteoarthritis Research Society International (OARSI) 2018 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kaneko H, Liu L, Arita H, Aoki T, Negishi Y, Momoeda M, Hada S, Okada Y, Kaneko K, Ishijima M
2. 発表標題 Pain reduction after high tibial osteotomy was associated with reduction of histological synovitis in patients with knee osteoarthritis -a longitudinal study
3. 学会等名 Osteoarthritis Research Society International (OARSI) 2018 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Negishi N, Ishijima M, Kaneko H, Aoki T, Liu L, Arita H, Momoeda M, Hada S, Tamura Y, Watada Y, Kawamori R, Kaneko K
2. 発表標題 Component ratio of cartilage and bone parts of osteocyte in early-stage knee OA -A Sportology Core Study
3. 学会等名 Osteoarthritis Research Society International (OARSI) 2018 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1 . 発表者名 Shiozawa J, Ishijima M, Kaneko H, Nagayama M, Shimizu M, Miyazaki T, Shimada K, Liu L, Takazawa Y, Ikeda H, Daida H, Kaneko K
2 . 発表標題 Prophalaxis of incidence of deep vein thrombosis (VTE) in lower limbs after total knee arthroplasty (TKA) in patients with knee osteoarthritis by eicosapentaenoic acid (EPA) administration -a case-control study
3 . 学会等名 Osteoarthritis Reaseach Society International (OARSI) 2018 (国際学会)
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 Shimura Y, Kurosawa H, Kaneko H, Nojiri H, Iwase Y, Kaneko K, Ishijima M
2 . 発表標題 Serum hyaluronan levels are associated with disability for activity of daily living in patients with knee osteoarthritis regardless of the radiographic severity of the disease
3 . 学会等名 Osteoarthritis Reaseach Society International (OARSI) 2018 (国際学会)
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 Arita H, Kaneko H, Ishijima M, Ishibashi M, Hada S, Liu L, Negishi Y, Momoeda M, Aoki T, Takazawa Y, Ikeda H, Kaneko K
2 . 発表標題 Gait speed is associated with medial meniscus extrusion in patients from early- to end-stage knee osteoarthritis
3 . 学会等名 Osteoarthritis Reaseach Society International (OARSI) 2018 (国際学会)
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 Aoki T, Ishijima M, Kaneko H, Hada S, Liu L, Arita H, Kinoshita M, Negishi Y, Momoeda M, Tamura Y, Watada H, Kawamori R, Kaneko K
2 . 発表標題 Comparison verification between texture analysis based on T2map MRI and histological analysis of the meniscal degeneration in patients with knee osteoarthritis
3 . 学会等名 Osteoarthritis Reaseach Society International (OARSI) 2018 (国際学会)
4 . 発表年 2018年

1. 発表者名 Hada S, Ishijima M, Kaneko H, Liu L, Kinoshita M, Arit H, Aoki T, Takazawa Y, Ikeda H, Tomita Y, Kusunose K, Okada Y, Kaneko K
2. 発表標題 Association between the hypertrophy and the extrusion of medial meniscus using 3T MRI in patients with knee osteoarthritis
3. 学会等名 Osteoarthritis Research Society International (OARSI) 2018 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 石島旨章
2. 発表標題 早期変形性膝関節症
3. 学会等名 愛知県整形外科医会教育研修講演会 (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 石島旨章
2. 発表標題 変形性膝関節症の病態と治療
3. 学会等名 東京都医師会第33回健康スポーツ医学研修会 (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 石島旨章
2. 発表標題 変形性膝関節症の病態と治療
3. 学会等名 第91回日本整形外科学会学術総会教育研修講演 (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 石島旨章
2. 発表標題 早期膝OAの病態：軟骨変性と摩耗の機序
3. 学会等名 第91回日本整形外科学会学術総会シンポジウム（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 石島旨章
2. 発表標題 変形性膝関節症の病態に則した治療 -保存療法から外科的治療の適応及びリハビリテーションまで-
3. 学会等名 日本リウマチ財団平成30年度リウマチの治療とケア教育研修会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 金子晴香, 石島旨章, 劉立足, 有田均, 羽田晋之介, 長尾雅史, 齋田良知, 高澤祐治, 池田浩, 金子和夫
2. 発表標題 変形性膝関節症に対する高位脛骨骨切り術による疼痛改善と滑膜炎改善との関連を検討した縦断研究
3. 学会等名 第10回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会(JOSKAS)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 有田均, 金子晴香, 石島旨章, 石橋雅義, 劉立足, 百枝雅裕, 根岸義文, 高澤祐治, 池田浩, 金子和夫
2. 発表標題 初期変形性膝関節症患者の階段昇降時の歩行動態と関連する形態学的変化
3. 学会等名 第10回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会(JOSKAS)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 根岸義文, 石島旨章, 金子晴香, 青木孝子, 劉立足, 有田均, 百枝雅裕, 高澤祐治, 池田浩, 金子和夫
2. 発表標題 高齢者住民コホートにおける半月板逸脱と臨床症状の関連
3. 学会等名 第10回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会(JOSKAS)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 石島旨章, 羽田晋之介, 金子晴香, 劉立足, 有田均, 長尾雅史, 齋田良知, 高澤祐治, 池田浩, 金子和夫
2. 発表標題 内側半月板逸脱に対する新規治療法 鏡視下骨棘切除術の開発と短期成績 初報
3. 学会等名 第10回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会(JOSKAS)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 内側半月板逸脱は脛骨内側骨棘形成とともに進行する -前十字靭帯再建術例の縦断研究
2. 発表標題 羽田晋之介, 石島旨章, 金子晴香, 有田均, 永山正隆, 齋田良知, 高澤祐治, 池田浩, 富田善雅, 岡田保典, 金子和夫
3. 学会等名 第10回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会(JOSKAS)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 羽田晋之介, 石島旨章, 金子晴香, 有田均, 永山正隆, 齋田良知, 高澤祐治, 池田浩, 富田善雅, 岡田保典, 金子和夫
2. 発表標題 内側半月板逸脱は脛骨内側骨棘形成とともに進行する -前十字靭帯再建術例の縦断研究
3. 学会等名 第10回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会(JOSKAS)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 人工膝関節置換術後深部静脈血栓症新規発生と血清多価不飽和脂肪酸の関連
2. 発表標題 塩澤淳, 石島旨章, 金子晴香, 永山正隆, 清水めぐみ, 宮崎哲朗, 高澤祐治, 池田浩, 代田浩之, 金子和夫
3. 学会等名 第10回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会(JOSKAS)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Muneaki Ishijima
2. 発表標題 Risk factors for the progression of early-stage knee osteoarthritis indicative of osteotomy around knee
3. 学会等名 第10回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会(JOSKAS) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Cilek ZM, Miyamae Y, Ito M, Mochizuki S, de Vega S, Shiozawa J, Ishijima M, Okada Y
2. 発表標題 Expression and regulation of ADAMTS4 (a disintegrin and metalloproteinase with thrombospondin motif 4) in synovial fibroblasts from osteoarthritic patients
3. 学会等名 第23回日本病態プロテアーゼ学会学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 塩澤淳, Susana de Vega, Mechmet Z. Cilek, 中村朋美, 笠松慎也, 吉田浩之, 金子晴香, 石島旨章, 金子和夫, 岡田保典
2. 発表標題 ヒアルロン酸(HA)分解に関わる分子HYBID(KIAA1199)の変形性膝関節症(OA)滑膜組織での発現とHA代謝解析
3. 学会等名 第33回日本整形外科学会基礎学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Muneaki Ishijima
2. 発表標題 Pain in knee osteoarthritis -Causes and treatment-
3. 学会等名 2018 Annual Congress of Korean Orthopedc Research Society (KORS) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Muneaki Ishijima
2. 発表標題 "Early" stage knee osteoarthritis -How it is proceeded?-
3. 学会等名 62nd Congress of the Korean Orthopaedic Association (KOA) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 有田均, 金子晴香, 石島旨章, 石橋雅義, 羽田晋之介, 木下真由子, 塩澤淳, 劉立足, 根岸義文, 百枝雅裕, 長尾雅史, 齋田良知, 高澤祐治, 池田浩, 金子和夫
2. 発表標題 初期変形性膝関節症患者の臨床症状と階段1歩行周期時間との関係
3. 学会等名 第46回日本関節病学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 石島旨章
2. 発表標題 スマートフォンアプリ・ロコモニターを用いたロコモ対策 -いつでも・どこでも・誰でも重力に負けない体づくり-
3. 学会等名 第64回日本宇宙航空環境医学会大会 (招待講演)
4. 発表年 2018年

〔図書〕 計16件

1. 著者名 石島旨章 (田城孝雄・内藤久士)	4. 発行年 2024年
2. 出版社 放送大学教育振興会	5. 総ページ数 292
3. 書名 健康長寿のためのスポーツロジー (三訂版) 運動と運動器疾患(1) -ロコモティブシンドローム-	

1. 著者名 石島旨章 (田城孝雄・内藤久士)	4. 発行年 2023年
2. 出版社 放送大学教育振興会	5. 総ページ数 292
3. 書名 健康長寿のためのスポーツロジー (三訂版) 運動と運動器疾患(2) -骨粗鬆症と変形性膝関節症-	

1. 著者名 石島旨章 (竹下克志)	4. 発行年 2023年
2. 出版社 総合医学社	5. 総ページ数 318
3. 書名 整形外科レビュー2023-'24, 変形性膝関節症	

1. 著者名 石島旨章	4. 発行年 2023年
2. 出版社 南江堂	5. 総ページ数 1112
3. 書名 標準整形外科	

1. 著者名 石島 旨章 (福井 次矢、高木 誠、小室 一成)	4. 発行年 2022年
2. 出版社 医学書院	5. 総ページ数 2224
3. 書名 今日の治療指針 2022年版 [ デスク判 ]	

1. 著者名 石島旨章	4. 発行年 2021年
2. 出版社 総合医学社	5. 総ページ数 296
3. 書名 整形外科レビュー 2021-'22 「変形性膝関節症」	

1. 著者名 石島旨章, 金子晴香	4. 発行年 2021年
2. 出版社 日本整形外科学会	5. 総ページ数 200
3. 書名 ロコモティブシンドローム診療ガイド2021 「変形性膝関節症とロコモの関連は？」	

1. 著者名 石島旨章, 金子晴香	4. 発行年 2021年
2. 出版社 日本整形外科学会	5. 総ページ数 200
3. 書名 ロコモティブシンドローム診療ガイド2021 「生活習慣病とロコモの関連は？」	

1. 著者名 石島旨章	4. 発行年 2021年
2. 出版社 南江堂	5. 総ページ数 524
3. 書名 膝関節外科学 「変形性膝関節症」	

1. 著者名 根岸義文, 金子晴香, 石島旨章	4. 発行年 2021年
2. 出版社 総合医学社	5. 総ページ数 552
3. 書名 がん口コモハンドブック, 第1版 「変形性膝関節症」	

1. 著者名 池内昌彦	4. 発行年 2020年
2. 出版社 日本医事新報社	5. 総ページ数 232
3. 書名 長引く膝の痛みに対する治療戦略【電子版付】	

1. 著者名 高木 辰哉	4. 発行年 2020年
2. 出版社 南江堂	5. 総ページ数 272
3. 書名 脊椎転移パーフェクト診療	

1. 著者名 高木 辰哉	4. 発行年 2020年
2. 出版社 南江堂	5. 総ページ数 360
3. 書名 脊椎転移パーフェクト診療	

1. 著者名 佐藤信紘	4. 発行年 2020年
2. 出版社 毎日新聞出版	5. 総ページ数 256
3. 書名 ハッピーエイジング	

1. 著者名 運動と運動器疾患 (1) -ロコモティブシンドローム-	4. 発行年 2019年
2. 出版社 放送大学教育振興会	5. 総ページ数 290
3. 書名 改訂版 健康長寿のためのスポーツロジー	

1. 著者名 運動と運動器疾患 (2) -骨粗鬆症と変形性膝関節症-	4. 発行年 2019年
2. 出版社 放送大学教育振興会	5. 総ページ数 290
3. 書名 改訂版 健康長寿のためのスポーツロジー	

〔産業財産権〕

〔その他〕

変形性膝関節症  
[https://www.juntendo.ac.jp/hospital/clinic/seikei/about/disease/kanja02\\_01.html](https://www.juntendo.ac.jp/hospital/clinic/seikei/about/disease/kanja02_01.html)

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究協力者	岡田 保典  (Okada Yasunori)  (00115221)	順天堂大学・運動器疾患病態学・特任教授   (32620)	
研究協力者	平澤(有川) 恵理  (Eri Arikawa-Hirasawa)  (50245718)	順天堂大学・老人性疾患病態・治療研究センター・教授   (32620)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------